

平成26年度 学生による地域活性化プログラム  
鯉江康正ゼミナール活動報告書

# 新潟県内のまちの駅の 情報発信とまちの駅間 交流の実施

平成26年度

10

## ごあいさつ



学長 内藤 敏樹

継続は力なりと申しますが、今回で8年目を迎えた地域活性化プログラムにこの言葉があてはまるでしょうか。指導教員が入れ替わったりテーマが変わったりで、最初から同じテーマで続いている取組はそれほど多くはないのですが、学園祭などで8年間の成果を一覧できるようになっていたりするのを見るとちょっとした壮観です。昨年度から文科省の「地（知）の拠点整備事業（COC）」の一環としての位置づけがなされ再スタートしましたが、当初の意気込みが指導教員によみがえったのではないかと期待しています。

地域活性化プログラムは、学生が地域の中に入って行って地域の課題を解決していこうとするものですが、その実は地域による学生生活活性化プログラムでもあります。つまり我々教員が講義やゼミ各種の演習を通じて学生を教導するだけでなく、さまざまな形で地域の方々と接し、時に怒られ時には褒められるという体験を積むことによって学生が実社会に出た時の「コミュニケーション能力」を飛躍的に伸ばせる可能性が期待されているのです。

またプログラムはチームで共同作業を行うものなのですが、率直に言ってメンバー間にはいろいろと温度差があります。時間を守らない、割り当てられたタスクをちゃんとやらない等さまざまなドタバタが起きていること、これも実社会の縮図であるかと思えます。こうした困難を乗り越えることを通じて成長していく学生が増えています。

これまでのプログラムの中で学生と地域の方々がいろいろな形で接触し、さまざまな活動を行ってまいりました。中には「若い学生さんが地域の中に入ってきてくれるだけで充分です」というご意見もありましたが、さらにプラスしてもっと地域のためになることをしなければならぬと考えています。

本学は開学以来、「去華就實」「社会に役立つ人間となれ」をモットーとしています。ただ役に立つかどうかを決めるのは社会であり他人です。ここで独りよがりがあったり、根拠のない独善があったりしたのでは真に「役立つ」人間にはなれません。つまり上のモットーは、自らに対する客観的な認識に裏付けられた自身が必要になってくるということです。いろいろな人たち－関係者から率直な評価をもらえることは、成長途上の学生にとって得難い機会であるかと思えます。あとはその評価をどう活用していくかということですが、この点はまだ学生次第ということになりますので、このあたりも我々は考えていかねばならない点であるかと思っています。

地域交流、実社会との連携を行っている教育機関は他に数多くあると思います。東日本大震災の後も、被災地の支援を正課の中で取り上げた大学があると報告されています。ただ、本学のような形で長期間地域との関係を築き上げているものはあまりないのではないかと自負しています。地域の方々、特に学生と接することになる各位にはご迷惑なことかも知れませんが、次世代の若者の成長のためによりしくお願いする次第であります。

平成27年3月

## はじめに

### —新潟県内のまちの駅の情報発信とまちの駅間交流の実施—



長岡大学教授／担当教員 鯉江 康正

鯉江ゼミでは平成19年度から、「まちの駅」をフィールドとして調査研究を行ってきました。以下、簡単にその流れを振り返ってみます。なお、詳細な調査研究報告は過年度の「学生による地域活性化プログラム」の報告書を参照されたい。平成19年度は、①文献・資料調査により「まちの駅」の歴史と概要を整理し、②文献・資料調査及びヒアリング調査により、長岡市における「まちの駅」の現状と課題をまとめ、③「まちの駅 長岡大学」の活性化に向けて4つの提言を行いました。平成20年度は、平成19年度の調査を受ける形で、①全国の「まちの駅」へのアンケート調査の実施、②長岡市の「まちの駅」のパネル及び商品の展示、③「まちの駅」の食材を使った模擬店（豚汁とおにぎりの販売）を行いました。平成21年度は、先進地域である①富士地域、会津地域、本庄地域の「まちの駅」にヒアリング調査を実施しました。あわせて平成20年度同様、②長岡市の「まちの駅」のパネル及び商品の展示、③「まちの駅」の食材を使った模擬店（豚汁とおにぎりの販売）を実施しました。平成22年度は、長岡市内にある全ての「まちの駅」（平成22年調査時50ヵ所）でヒアリング調査を実施し、その内容を学生の視点でまとめた紹介パネルを作成し、学園祭で紹介しました。平成23年度は、「越後長岡まちの駅ネットワーク」の情報と「まちの駅」の活動がまちの駅の方にどのような意識の変化をもたらしたのかを地域づくりの観点から検証しました。また、例年通り学園祭での発表もしております。平成24年度は、新たに見附地域の「まちの駅ネットワークみつけ」を対象にヒアリング調査、アンケート調査を実施しました。平成25年度は、糸魚川地域のまちの駅10駅にヒアリングを実施、新たにできた長岡5駅、見附2駅にもヒアリングを実施しました。また、過去に作成したパネルのリニューアルも行いました。

本年度の主要な活動は、①昨年度までのヒアリング調査・パネル作成で残っていた県内21駅への調査、②悠久祭でのパネル展の開催、③まちの駅イベントへの協力、④まちの駅全国大会への参加による意識の醸成、⑤まちの駅間交流会の実施であります。「① ヒアリング調査・パネルの作成」については、今年度をもって、県内125駅的全調査とパネル作成をすることができました。「② 悠久祭でのパネル展の開催」については、昨年度まで実施してきたパネル展に加え、県内のまちの駅の活動を紹介したDVDも利用して、自分たちの活動と成果をアピールしました。「③ まちの駅イベントへの協力」については、今年度は見附市栄町のイベントのみの参加となりました。「④ まちの駅全国大会への参加」については、ミーティングでも積極的に発言し、今後の活動の励みにすることができました。「⑤ まちの駅間交流の実施」として、本学に新潟県のまちの駅の方をお招きして「第1回まちの駅間交流」を実施できたことは新たな展開であります。これらの活動を学生が整理いたしましたので、ここに紹介いたします。

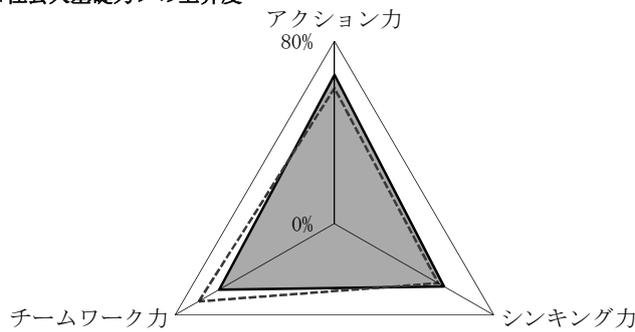
なお、活動に当たっては「まちの駅ネーブルみつけ」の駅長であられる中川一男氏、長岡市市民協働推進室の安達一啓氏をはじめ、県内外のまちの駅の方に多大なるご協力をいただいております。この紙面を借りて深く感謝申し上げます。

平成27年3月

# 平成 26 年度 学生による地域活性化プログラム 社会人基礎力の上昇度

地域活性化プログラムにおける学生教育の目標は、社会人基礎力の向上、ビジネス展開能力の向上、専門的スキルの向上が目的である。平成 26 年度学生による地域活性化プログラムに参加した 10 取組の学生の「社会人基礎力」の伸び具合について、学生とゼミ担当教員にアンケートを実施した。アンケートは取組に参加した学生一人一人を対象に、社会人基礎力の変化を評価する形で実施した。学生は自己評価（有効回収 69）であり、教員は各ゼミ生についての評価である。

## <社会人基礎力>の上昇度



## ★「社会人基礎力」

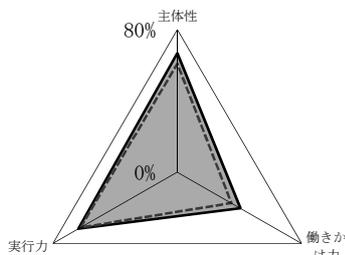
=「アクションカ」「シンキングカ」「チームワークカ」が上昇

3つの社会人基礎力の上昇度（取組前と取組後の比較）は、学生の自己評価と教員評価の間にずれがある。今後の取組においては、今年度の結果に現れている学生評価と教員評価の差を小さくすると同時に全体的な上昇度を高めていくことに対して、継続的に検討していく必要がある。

※図の網かけ ■ は学生評価、点線 □ は教員評価である。

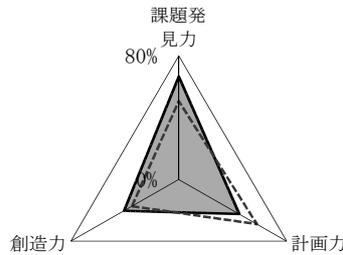
	学生評価	教員評価
アクションカ	65.2%	59.4%
シンキングカ	55.1%	52.2%
チームワークカ	58.0%	68.1%

## <アクションカ>の評価



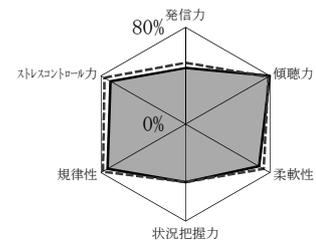
	学生評価	教員評価
主体性	66.7%	60.9%
働きかけ力	40.6%	34.8%
実行力	63.8%	62.3%

## <シンキングカ>の評価



	学生評価	教員評価
課題発見力	66.7%	50.7%
計画力	44.9%	58.0%
創造力	40.6%	34.8%

## <チームワークカ>の評価



	学生評価	教員評価
発信力	46.4%	50.7%
傾聴力	79.7%	78.3%
柔軟性	69.6%	73.9%
状況把握力	47.8%	47.8%
規律性	73.9%	78.3%
ストレスコントロール力	71.0%	76.8%

## <アクションカ>

アクションカの3つの指標を比較すると、今年度の学生の場合、主体的には取り組めたと思っている学生の割合は高いが、教員の評価は低くなっている。学生はそれなりに積極的に活動していると感じている一方で、教員はもう一歩踏み出してほしいという期待感を持っているようである。

## <シンキングカ>

学生の自己評価では、課題は見つけれられたが、自分で計画して課題に立ち向かい、課題解決ができた学生は残念ながら少なく、また創造力が低くなっている。同様に、教員評価でも創造力については厳しいものになっている。シンキング力が弱い傾向があり、この点をどのようにして伸ばしていくかが課題として残った形である。

## <チームワークカ>

チームワーク力は、「アクションカ」や「シンキングカ」よりも学生評価と教員評価の類似性が高い。

学生の自己評価も同様であるが、教員の評価が発信力と状況把握力が低い点は、今後指導を強めていく必要がある。





---

---

平成26年度 学生による地域活性化プログラム

---

---

# 新潟県内のまちの駅の情報発信と まちの駅間交流の実施

## 鯉江康正ゼミナール

---

### 4年生

11E001 伊佐夏美  
11E035 高野綾夏  
11E044 目黒達典  
11E032 滝沢 晶  
11E401 劉 洋  
11E033 周 友糧

### 3年生

12E031 丸山真司  
12M401 ショウ 花  
12E401 蘭 海潮  
12M402 李 セイ

## 目 次

1. 調査・研究の目的 .....	1
2. 「まちの駅」の概要と過年度ゼミにおける調査研究・活動の概要	
2.1 「まちの駅」の歴史と概要 .....	2
2.1.1 「まちの駅」の歴史	
2.1.2 「まちの駅」のコンセプト	
2.2 過年度ゼミにおける調査研究・活動の概要 .....	4
3. 新潟県内のまちの駅の情報発信活動	
3.1 新潟県内まちの駅のパネル作成 .....	6
3.2 ヒアリング調査 .....	6
3.3 反省点 .....	7
3.4 新規作成したまちの駅紹介パネル一覧 .....	7
3.5 悠久祭でのパネル展及び物品展示 .....	19
3.6 ホームページの更新 .....	20
3.7 平成26年度まちの駅全国フォーラム in 本庄 第17回まちの駅全国大会 .....	22
3.7.1 概要	
3.7.2 参加した企画	
3.7.3 まとめ	
3.8 まちの駅や地域におけるボランティア活動への参加 .....	33
4. まちの駅間交流会の実施	
4.1 第1回新潟県内のまちの駅交流会の概要 .....	34
4.2 第1回新潟県内のまちの駅交流会の流れ .....	35
4.3 まとめ .....	42
5. とりまとめ .....	43

## 1. 調査・研究の目的

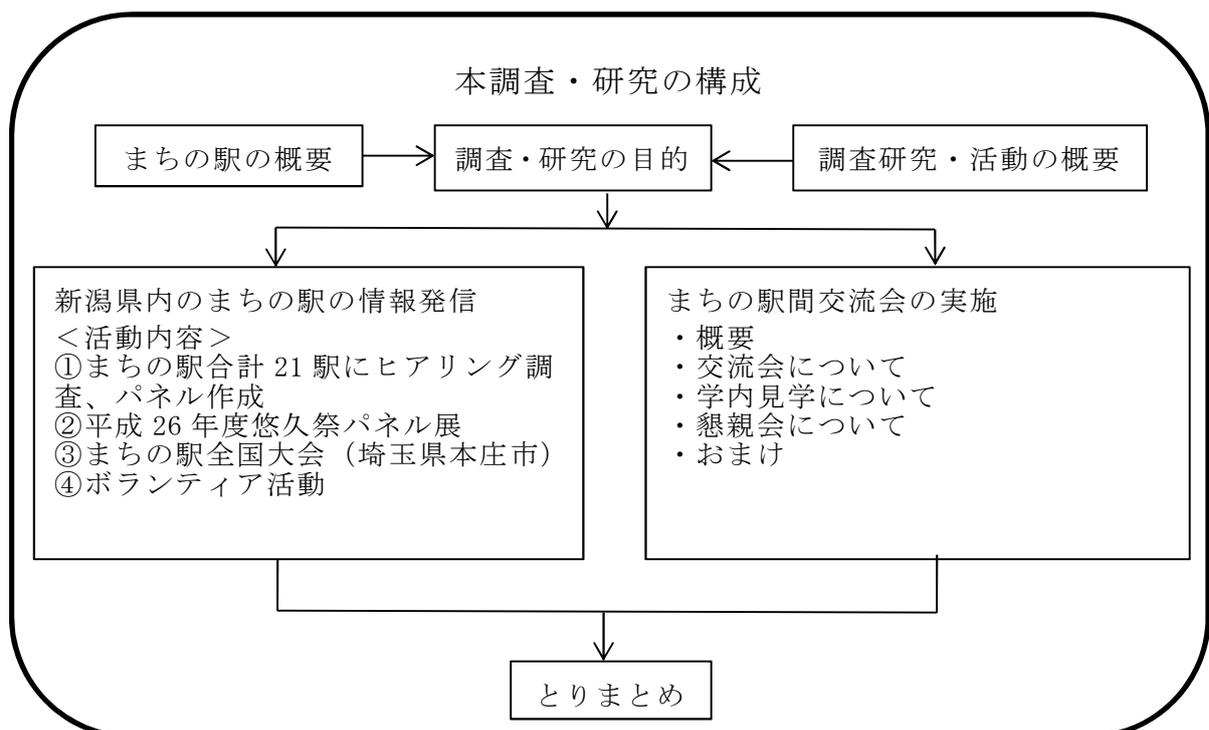
平成 26 年度 4 月時点では、新潟県内の「まちの駅」の開設数は 125 駅である。地域の開設数の内訳では、長岡市 61 駅、見附市 40 駅、糸魚川市 11 駅の他にも新潟市や五泉市、十日町市などにも「まちの駅」がある。

過去の鯉江ゼミナールでは、全国のまちの駅にアンケート調査や、一部の地域のみを調査対象としたアンケート調査を実施してきた。今年度は、長岡、見附、糸魚川の新規のまちの駅と、残りの県内のまちの駅をヒアリングし、まちの駅紹介パネルを作成する。また、昨年度の提案であるまちの駅の交流会を開催し、交流を促進させ、より一層まちの駅同士の繋がりを強化するため、「新潟県内まちの駅の情報発信とまちの駅間交流の実施」というテーマにした。

今年度のヒアリング調査では、長岡 3 駅、見附 4 駅、糸魚川 1 駅、上越 1 駅、十日町 1 駅、小千谷 1 駅、新潟 3 駅、五泉 4 駅、新発田 2 駅、燕 1 駅の合計 21 駅のまちの駅にヒアリングを実施した。ヒアリング調査後に「まちの駅紹介パネル」を作成し、悠久祭でのパネル展や地域活性化プログラムのホームページに掲載して情報発信していく。ただし今年度は、昨年度行ったまちの駅紹介パネルの修正・更新は行わず、そのままの紹介パネルで情報発信を行っている。調査の目的は上記の通りであるが、具体的な活動は本調査・研究の構成を参照されたい。

第 2 章では、まちの駅の歴史と概要を整理する。あわせて平成 19 年度からのゼミの取り組みとして「まちの駅」とどのように関わってきたかを簡単に紹介する。

第 3 章では、新潟県内まちの駅の情報発信を目的とした、今年度ゼミで行った「まちの駅」にかかわる活動を紹介する。主な活動として、①10 地域にあるまちの駅合計 21 駅にヒアリング調査、パネル作成、②平成 26 年度悠久祭パネル展、③まちの駅全国大会（埼玉県本庄市）、④ボランティア活動、を紹介する。



第4章では、まちの駅間交流会を紹介する。

第5章では、これらの活動や影響調査を踏まえてとりまとめを行う。

## 2. 「まちの駅」の概要と過年度ゼミにおける調査研究・活動の概要

### 2.1 「まちの駅」の歴史と概要

#### 2.1.1 「まちの駅」の歴史

「まちの駅」のお手本に、「道の駅」がある。「道の駅」は一般国道脇につくられた駐車場、トイレ付の休憩施設で、「休憩機能」「情報交流機能」「地域の連携機能」の3つの機能をあわせもった施設である。平成2年に広島で開催された「中国地域まちづくり交流会」のシンポジウムでの参加者の発言、『不思議なのですが、JRには駅があるのに、なぜ道路には駅がないのでしょうか。道路地図にはJRの駅は載っています。家族でドライブしていても、家内は1～2時間しますとトイレのことが気にかかるようです。すると、道路地図を見て、JRの駅を探すことになります。各市町村に1つくらい、そういう施設がどこにあるのか道路地図に載せてみてはどうでしょうか』を受けて、平成3年に地域交流センターが社会実験を行い、この成果をもとに平成5年に制度化された。

現在「道の駅」はドライバーの休憩拠点、観光情報の発信基地、地域おこし等で注目され、設置数は1,040カ所（平成26年10月10日現在）にのぼる。いまや「道の駅」は国民に支持されるインフラへと成長を遂げた。

一方で、地域との関わりや、駅同士・地域間のネットワークといったソフト面での工夫はなかなか進んでいないのが現状である。この駅や地域、“人のつながり”の機能を強化していくために生まれたのが「まちの駅」である。平成26年11月末現在の「まちの駅」は、全国で約1,580駅である。そして全国の「まちの駅」関係者が集まって意見交換する全国大会がこれまで17回開催されている（平成26年11月現在）。

「道の駅」「まちの駅」の検討経過とまちの駅全国大会の一覧は以下の通りである。

「道の駅」「まちの駅」検討経過年表

年 月	動  き
平成2年1月	中国地域まちづくり交流会で、「道の駅」の提案がなされる
平成3年10月 ～平成4年4月	中国・中部・関東の3地域で、道の駅社会実験開始
平成5年2月	建設省道路局により、道の駅制度化
平成10年3月	全国総合開発計画の4つの戦略の1つに「地域連携軸の展開」があげられる。
平成10年3月	中部西関東・北東北地域を皮切りに「連携センター（まちの駅の前身）」の提案・社会実験開始
平成11年1月	2,700通の応募から、「連携センター」→「まちの駅」に名称確定
平成11年5月	570点の応募から、「まちの駅」シンボルマーク決定
平成11年5月 ～現在	各地域で「まちの駅」の社会実験や連携強化キャンペーンを実施

年 月	動 き
平成 12 年 8 月	「まちの駅」の全国ネットワーク「まちの駅連絡協議会」正式発足
平成 16 年 7 月	「海の駅」発掘イベント「日本ぐるっと一周・海交流」完了
平成 17 年 11 月	「健康の駅推進機構」発足
平成 18 年 9 月～	海の駅、川の駅、健康の駅、学びの駅等、テーマ性の高い拠点連携の展開と組織化
平成 20 年 11 月～	まちの駅の実験制度廃止

資料 1) まちの駅連絡協議会「まちの駅全国大会 in 上野」配布資料『まちの駅の歴史』

資料 2) まちの駅連絡協議会「まちの駅全国大会 in 鶴来」配布資料『21 年度の取組み概要報告』

資料 3) まちの駅公式サイト「まちの駅どっと混む」より。

#### まちの駅全国大会一覧

年 月	動 き
平成 13 年 8 月	まちの駅全国フォーラム 日本経済新聞社
平成 14 年 3 月	まちの駅全国フォーラム in 櫛形
平成 14 年 7 月	「全国まちの駅連絡協議会」総会・勉強会 KOTOBUKI D. I. センター
平成 15 年 8 月	第 4 回「まちの駅連絡協議会」総会&フォーラム 2003 まちの駅ぽっぽ町田
平成 16 年 2 月	第 5 回「まちの駅連絡協議会」フォーラム in 長岡
平成 16 年 10 月	第 6 回「全国まちの駅総会・勉強会」 宇都宮大学
平成 16 年 10 月	第 7 回「全国まちの駅総会・勉強会」 in 見附
平成 18 年 2 月	第 8 回まちの駅全国大会 in 甘木・朝倉
平成 18 年 9 月	第 9 回まちの駅全国大会 in 会津若松
平成 19 年 10 月	第 10 回まちの駅全国大会 in 上野
平成 20 年 11 月	第 11 回まちの駅全国大会 in 富士市
平成 21 年 11 月	第 12 回まちの駅全国大会 in 鹿沼
平成 22 年 10 月	第 13 回まちの駅全国大会 in 鶴来
平成 23 年 7 月	第 14 回まちの駅全国大会 in 東京
平成 24 年 7 月	第 15 回まちの駅全国大会 in 千厩
平成 25 年 10 月	まちの駅全国フォーラム in ふくしま (第 16 回)
平成 26 年 10 月	まちの駅全国フォーラム in 本庄 (第 17 回)

資料) まちの駅公式サイト「まちの駅どっと混む」より。

### 2.1.2 「まちの駅」のコンセプト

まちの駅を一言でいうと「公共施設からまちかどのお店まで、既存の施設・空間に設置できる、人と人の出会いと交流をサポートする、まちの情報発信拠点」である。そのコンセプトは、「ひと・テーマ・まちをつなぐ拠点」であり、具体的には次の4つの側面を持っている。

#### ○ 人と人の出会いと交流を促進するヒューマンステーション

「まちの駅」とは、地域住民や来訪者が求める地域情報を提供する機能を備え、人と人の出会いと交流を促進する空間施設である。また、まちづくりの拠点となり、まちとまちをつなぐ役割を持つものである。人と人をつなぐ場であるということから、ヒューマンステーションと呼ぶことができる。

#### ○ まちの窓口、サロン機能などの機能を有する空間

機能は、①まちの窓口としての案内機能（窓口機能）、②人の交流を促進する交流機能（サロン機能）等を持ったものである。そして、何よりも重要なことは、その拠点が何らかのテーマを持っており、オープンな空間であるということである。

#### ○ まちづくりテーマをつなぐ、テーマステーション

それぞれの「まちの駅」には活動テーマがあり、そのテーマを連携させることで、豊かなまちづくりに貢献することができる。人々が運営する諸施設のテーマには、福祉、医療、アート、教育、スポーツ、観光、農業、海など、様々なものがある。「道の駅」はドライバーの休憩拠点というのが大きなテーマであり、「道の駅」も、「まちの駅」のひとつと考えることができる。「まちの駅」は、テーマとテーマをつなぐ場であるということから、テーマステーションと呼ぶことができる。

#### ○ 行政・民間を問わない設置・運営形態

「まちの駅」は主に、既存施設を活用して設置することを想定しており、その設置・運営主体は行政・民間を問わない。民間版の「まちの駅」にこそ自由な工夫が許されるといえる。

これらを簡単に言えば、「まちの駅の機能」は次の4機能に集約される。

- ① 休憩機能：誰でもトイレが利用でき、無料で休憩できる機能
- ② 案内機能：「まちの案内人」が、地域の情報について丁寧に教える機能
- ③ 交流機能：地域の人と訪問者の、出会いと交流のサポートをする機能
- ④ 連携機能：まちの駅間でネットワーク化し、もてなしの地域づくりをする機能

## 2.2 過年度ゼミにおける調査研究・活動の概要

本ゼミでは平成19年度より、「まちの駅」をテーマに調査研究活動を行ってきた。その概要は以下のとおりである。

### <平成19年度>

①文献・資料調査により「まちの駅」の歴史と概要を整理し、②文献・資料調査及びヒアリング調査により、長岡市における「まちの駅」の現状と課題をまとめ、③「まちの駅 長岡大学」の活性化に向けて以下の4つの提言を行った。

提言1：交流会への積極的参加と学生への情報発信

提言 2 : 教職員及び学生による「まちの駅 長岡大学」活性化協議会の設置

提言 3 : 学内での「まちの駅 長岡大学」の認知と予算・人的協力体制の構築

提言 4 : 学校施設の積極的解放と学外への情報発信

#### <平成 20 年度>

平成 19 年度の調査を受ける形で、①全国の「まちの駅」へのアンケート調査の実施、②長岡市の「まちの駅」のパネル及び商品の展示、③「まちの駅」の食材を使った模擬店（豚汁とおにぎりの販売）を行った。活動②及び③は学園祭（悠久祭）で実施したが、③については GP（平成 19 年度採択、現代的教育ニーズ取組支援プログラム「学生による地域活性化提案プログラム—政策対応型専門人材の育成」）の活動ではなく、ゼミ独自の活動として行った（補助金の対象外）

#### <平成 21 年度>

平成 20 年度のアンケートの調査結果及び、アドバイザーになって頂いている『長岡市民センター』の職員の方のすすめを受けて、①富土地域、会津地域、本庄地域の「まちの駅」にヒアリング調査を実施した。あわせて平成 20 年度同様、②長岡市の「まちの駅」のパネル及び商品の展示、③「まちの駅」の食材を使った模擬店（豚汁とおにぎりの販売）を実施した。昨年度のヒアリング調査からは以下の 3 点の提言を行った。

提言 1 : マスコットの募集と作成

提言 2 : パスポートの作成

提言 3 : ウォーキングイベントの実施

上記以外にも、「まちの駅」や GP を通しての活動をパネルにし、学内に展示するなど多くの活動を行ってきた。その結果、平成 19 年度には学生にほとんど知られていなかった「まちの駅」が、今ではほとんどの学生がその存在を知っている。また、図書館や駐車場の一般開放など実行に移された提言もある。

#### <平成 22 年度>

長岡市内にある全ての「まちの駅」（平成 22 年調査時 50 ヶ所）でヒアリング調査を実施し、その内容を学生の視点でまとめた紹介パネルを作成した。作成したパネルは学園祭（悠久祭）でのパネル展として展示し、多くの人に足を運んで頂いた。そして、例年同様に「まちの駅」の食材を使った模擬店（豚汁とおにぎりの販売）も行った。

また、越時計店の協力を経て、大手通りにあるブロンズ像を使ったカレンダーを作成し、「まちの駅」のパネルと同様にホームページでの配信を行った。

その他にも様々なイベントに参加し、和島地域で行われたイベントでは平成 21 年度の提言であるウォーキングイベントも実施された。

#### <平成 23 年度>

平成 23 年度は、「越後長岡まちの駅ネットワーク」の情報と「まちの駅」の活動がまちの駅の方にどのような意識の変化をもたらしたのかを地域づくりの観点から検証した。

長岡地域の「まちの駅」が 50 駅から更に 7 駅増え、57 駅になった。既存の駅について

は、再度ヒアリング調査を行い、変更箇所などを直しパネルを新たにリニューアルした。新たに加わった7駅については、まちの駅になった経緯やお店のPRなどをヒアリング調査し、新たなパネルを作成した。例年同様に、作成したパネルは学園祭でのパネル展として展示し、「まちの駅」の食材を使った模擬店（炊き込みご飯と味噌汁の販売）も行った。

併せて、23年度はまちの駅の活動をとおして、その活動に参加している人々のまちづくりに関する意識がどう変わったかを検証するために、『「まちの駅」の活動による地域づくりに関する意識調査』を実施した。

#### <平成24年度>

平成24年度は、新たに見附地域の「まちの駅ネットワークみつけ」を対象にヒアリング調査、アンケート調査を実施した。ヒアリング調査では、見附地域の全ての「まちの駅」を対象に実施した。まちの駅になったきっかけ、お店のPRを中心にヒアリング調査を実施した。ヒアリングで聞いた内容でまちの駅紹介パネルを作成した。作成したパネルを学園祭で展示し、まちの駅からの物品もパネルと共に紹介した。学園祭の模擬店では、まちの駅の食材を使い「麻婆丼」の販売を行った。

アンケート調査ではまちの駅の交流力、経済効果、影響力の3つをテーマにしてアンケートを実施した。その結果、地域へ様々な面で貢献していることがわかった。

#### <平成25年度>

平成25年度は、糸魚川地域のまちの駅10駅にヒアリングを実施、長岡5駅、見附2駅に新たにできた「まちの駅」にもヒアリングを実施した。ヒアリング調査後に「まちの駅紹介パネル」を作成し、悠久祭でのパネル展や地域活性化プログラムのホームページに掲載して情報発信を行った。また平成24年度までに制作した「越後長岡まちの駅」54駅と「ネットワークみつけ」36駅のまちの駅紹介パネルの修正・更新を実施した。

また、新潟県内の全てのまちの駅にアンケート調査を実施し、施設別での分析と長岡や見附などの地域ごとでの分析を行った。

### 3. 新潟県内のまちの駅の情報発信活動

#### 3.1 新潟県内まちの駅のパネル作成

新潟県内の21駅のまちの駅をヒアリングし、パネルを作成した。パネルには、それぞれの駅の基本情報や駅長からのメッセージ、駅の様子が見える写真などを載せた。また、学生それぞれが思い思いの「学生をつぶやき」を載せることで、よりそのまちの駅に興味を持ってもらえるようにした。

#### 3.2 ヒアリング調査

新たにまちの駅となった駅や未調査の駅、長岡（3駅）、見附（4駅）、糸魚川（1駅）、五泉（4駅）、小千谷（1駅）、上越（1駅）、十日町（1駅）、新潟（3駅）、新発田（2駅）、燕（1駅）の計21駅をヒアリング調査した。

ヒアリングでは、駅名や住所、電話番号などの基本項目の確認、店または施設の紹介・PR、まちの駅になった理由などをお聞きし、これらの情報を基にパネルを作成した。

### 3.3 反省点

今年度は新たに 21 駅をヒアリングする中で、準備不足によりスムーズに質問できなかったことや、まちの駅の方にご迷惑をおかけすることがあった。事前にヒアリングにお伺いする駅について調べ、質問したいことをまとめておくことが必要だった。

### 3.4 新規作成したまちの駅紹介パネル一覧

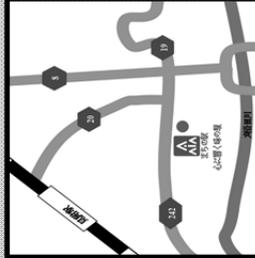
地域	駅名	担当
長岡	まちの駅 いろり茶屋 火処	蘭
長岡	まちの駅 とちパル	ショウ
長岡	まちの駅 伊丹	伊佐
見附	心に響く味の駅	高野
見附	おもてなしの駅	伊佐
見附	里山ログハウスの駅	高野
見附	パンの駅	劉
糸魚川	食の駅 うまいもん館	滝沢
五泉	は～とふる五泉館	高野
五泉	まちの駅 よりね家	ショウ
五泉	まちの駅 ふるさと会館	丸山
五泉	まちの駅 黄金の里会館	蘭
小千谷	片貝あられ・おせんべいの駅	目黒
上越	まちの駅 よしかわ杜氏の郷	目黒
十日町	溪谷の駅	滝沢
新潟	まちの駅 亀田の郷	目黒
新潟	新潟まちの駅	高野
新潟	Befco ばかうけ展望室	目黒
新発田	新発田商工会議所分館「まちの駅」	伊佐
新発田	まちの駅よろず	劉
燕	まちの駅 一寸いっぷくよらんかね	丸山

# 平成26年度作成 まちの駅紹介パネル

## 心に響く味の駅 割烹 角屋

「お客様の心に料理を響かせたい!」「料理を通しておもてなしをしたい!」という考えから、この駅名に♪

割烹 角屋  
〒954-0057  
新潟県阿部市新町1-10-14  
TEL:0258-62-0125  
FAX:0258-62-1677  
営業時間: 11:30~13:30  
17:00~23:30  
定休日: 不定休



○ 駅長さんは割烹料理屋5代目の加藤 美昭さんです。お店のためだけでなく、周囲のためになるのなら、という思いで平成25年4月に新しく加入したまちの駅です。

○ 若い世代にも割烹料理に親しんでほしいと願い、様々な工夫を凝らしています。お店で出ずも基本的に至て手作り! 真材もできる限り地元産にこだわり、国産のものを提供しています。値段も安く、品数も豊富です。



柔軟な弾き語りを披露してくれました。



鏡が大きくて女性にはうれしいトイレですね!



お部屋の雰囲気演出するもの。

割烹とは?  
完全個室のお座敷、またはカウンターで、日本料理をお召し上がりいただけます。お店のことです。



3階の天井には、三条市が生んだ日本酒家「猿橋沢 映泉」による花鳥画のちやうがりが描かれており、感動します!

平成26年度作成



# 畠山ログハウスの駅

## 大平森林公園

### 学生のつぶやき

こんなところ、こんな場所があるのか！と驚きながら、大きなため池、素敵な風景に酔いしれ、巨大滑り台にテンションが上がってしまいました！公園全体がきれいに保たれていて気持ちよかったです。遠足に来た小学生の皆さんにも出くわし、老若男女に賞賛されている公園なんだなと思いました。今度は友達を連れて、パーベキューでもしようと思います！

11E030 高野 綾夏

### 大平森林公園の中にある「まちの駅」です。



普段は住宅建築に携わる駅長の棚村さんは、新潟、福島の災害に伴い、防災指導を行うことで少しでも地域に役立ちたいとおっしゃっていました。イベントを通して、県内外の人たちと関わっていきなさいという事です。山歩き、キャンプ、釣りも多く、の趣味を持つアグレッシブな方です。一生に一度、大きな魚を釣りたい！とのことです。



〒954-0008  
新潟県見附市町1417-1  
TEL:0258-62-4217 FAX左に同じ

開園期間:4月1日~11月30日  
営業時間:8:30~17:30  
入園料:無料

### 交流



巨大滑り台！

### 休憩



トイレは全部で5つ！



平成26年度作成

# まちの駅 おもてなしの駅

## 【キッチンカフェ アンサンブル】

### 学生のつぶやき

赤い屋根が目につく(シムル)バニアファミリアみたいな可愛らしいお店です。訪問時がちょうどランチタイムで中から美味しそつな匂いがしてきました！駅長の若杉さんはとても気さくな方で、常連さんや地元のお客さんにとっても愛されているのだなと感じました！今回は鎌倉ながらお昼ご飯を食べさせてもらったので、今度家族で行って、駅長さんオオススムのクリーム系バスと食後にフオンダンスジョコラを食べたいです！！

11E001 伊佐夏美



駅長の若杉尚子さんとお店の前で一枚！季節の花が迎えてくれます！

2013年10月にオープン！見附市新聞にあるキッチンカフェです！友人とお茶をしながら会話をするのもよし！職場の仲間とランチを楽しむのもよし！お酒を飲みながら、お話を聴くのもいいですね。駅長さんの若杉さんがとてもパワフルな方で私運もいただきました！

### 店内の装飾に注目！



カウンター席でもお食事ができます！お量はランチメニューを！夜はお酒を飲みながら〜



新町中央バス停前すぐにあります！白い外壁に赤い屋根が目印です。

住所:新潟県見附市新町2-1-7  
TEL:0258-62-2020  
営業時間:10:00~21:00(ラストオーダー)  
定休日:日曜日・第1水曜日  
駐車場:7台

平成26年度作成

## パンの駅 天然酵母手作りパン工房la.crea

### まちの駅紹介

お店は見附駅から歩いてわずか3分ほどの所にあり、近所の方から電車通勤のサラリーマン、学生さんたちに利用されています。ほとんどのパンに天然酵母が使われているのが特徴です。経験豊富なパン職人たちが毎日手間暇かけて手作りしているのです、自慢の味を保っていられます。



### 学生のつぐやき

取材を受けてくれた馬場さんから、パンのことを沢山教えていただき、感謝しています。低価格でアレルギーの人にも心配がいらぬという、とても建ち上げて安心なパンです。僕のオススメは、冷凍しても、解凍すれば本来のふわわり感が無くならないアイスパンです。

11E401 劉洋



〒954-0051  
見附市本所2-5-40  
TEL 0258-63-3326  
●営業時間 7:30~18:00  
●定休日 月曜日  
第1火曜日  
第3火曜日

平成26年度作成

### 人気商品

お店の天然酵母は、フランスの伝統的な手法で採取されるルヴァン種を使用している。これはライ麦の皮に付着している菌を培養していく方法で、酸味が強く香りも天然酵母らしさを強く感じるといふ特徴がある。



## はとふる五泉館

〒959-1865  
新潟県五泉市本町2丁目3番35号  
TEL:0250-47-4348  
FAX:0250-47-4348  
営業時間：午前10時～午後4時

### まちの駅紹介

五泉駅から徒歩10分、市の中心部に位置するまちの駅です。空き店舗を活用し、平成23年からまちの駅になりました。月ごとに、地域の人たちが作った作品を展示しています。どれも個性豊かで、驚いてしまいます。名所案内など、多くの情報が詰まった場所です。いつでも、どんなときでも、利用してください！



○トイレは奥にあります。お気軽に使ってください！  
○悪いの場としていつでも利用してください。  
○平成25年から始まった『はとふる』も毎週金曜日午後から開催中です！

○五泉市の情報はもちろん、新潟の情報誌が多く揃っています。五泉のどこに行けばいいかな？となったら、ここに一度足を運んでください。



初めて五泉に行きました。古い建物は情緒があり、興味を引きました。空き店舗の利用や若い世代への課題など、どの地域にも共通した問題に積極的に取り組んでいるまちの駅でした。これからの五泉地域の取り組みが楽しみにになりました。

平成26年度作成

駅さんを真ん中に、集合写真(へへ)

11E030 高野 綾夏

# よいね家

越後五泉地元産物直売所

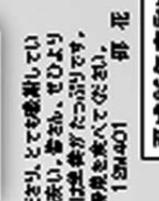


地元の農家の方々が丹精込めて育てた、茶心、茶室で新鮮なおいしい産物を販売しています。

野菜だけでなく、お米や五泉の産品、お漬物など、新鮮な産品も並びます。

五泉は地産地の産物とご一緒です。よいね家の産物には、ごきんごんと産物が並びます。産物のおきんごんは、新鮮な産物と美味しいお漬物も並びます。

農に人々のおいしいライフスタイルの作り方を教えているので、お野菜に囲んでください。



店長の吉村さんは丁寧に説明して下さり、とても感謝しています。よいね家の産物は新鮮で、価格も安い、旨い、旨い、ぜひよいね家に足を運んでください。新鮮な産物は産物だけでなく、毎日元気でいられるように、たさの産物も売っています。

15M401 耶花

平成26年度作成

# まちの駅 ふるさと会館

村松観光開発会館



## <まちの駅の紹介>

陸上競技場と村松公園近くにある築70年の建物で、元々は、ラーメン屋として営業しており、鹿の餌やTシャツの販売、食事処、民宿などをやっています。村松公園の駐車場は、通常は無料ですが、花見の2週間は有料になります。10月に陸上競技場で開催されるマラソン大会の運営に携わります。



まちの駅の入口近くに、忠犬タマ公の像があります。タマ公は、青野浦に巻き込まれた主人を2度も助けたという此犬で、元参謀大臣の小泉新一郎氏がこの像像を助けていました。若泊用の部屋は、現在は主に宴会や各団体の会議などに利用されています。

〒959-1765  
新潟県五泉市愛宕甲2829番地1  
TEL・FAX : 0250-58-5130  
営業時間：本館8:00～18:00  
貸室11:00～  
定休日：水曜日

## 学生のつぶやき

村松公園の外に鹿がいて(市の管理)、楽しく餌をあげることが出来ます。特別な名産品などはありませんが、広い公園や競技場の側なので、緑豊かな場所です。周辺は様々の名所でもあります。多くの家族連れや観光客に来てほしいと感じました。

12E031 丸山真司

平成26年度作成

# まちの駅 黄金の里会館

このまちの駅は、慈光寺の近くのうどん屋さんです。手打ちにこだわりのもちもちの塩焼き(限定)です。  
無料休憩所も利用できます。自然が多くて、気持ちのいい場所です。ぜひ、行ってみて下さい！！



自家製の漬物いろいろ



うどん製作、実演コーナー



地元野菜



学生のつづやき

留学してきて私は日本そばが大好きです。駅長さんは蕎麦についているいろなことを教えてくれました。ますます蕎麦に興味が増えました。  
皆さんは中国人の私に丁寧に丁寧に対応してくださいます。とても優しい人たちなので、また行きたいくなりました。

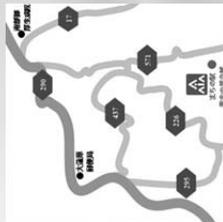
12E401 蘭 海翔

- 〒：959-1735
- 住所：五泉市蛭野876-13
- TEL&FAX：0250-58-1808
- 営業時間：11:00～17:00
- 定休日：水曜日ただし祝祭日は営業  
冬期間(12～3月末)は営業を休止

平成26年度作成

## 駅長さんのお話

自然からもらった食材を大事に責任感を持っていただきます！無駄のないように心をこめて、お客様に安心、安全のものを提供することを心がけています。



糸魚川の「うまいもん」ならここ！

# 食の駅 うまいもん館

(肉のひらさわ支店)

〒941-0064  
新潟県糸魚川市上刈  
3-14-27  
TEL:025-552-0335  
FAX:025-555-7470

営業時間：10:00～19:00  
休業日：不定休  
駐車場あり



緑の看板が目印！

## まちの駅の紹介

糸魚川駅から徒歩10分程度！昔ながらのお肉屋さんです。

【里毛和牛の駅舎指定店】  
くびき牛や新潟和牛が購入できます。つなみボークもありません。

その他、コロッケ、お惣菜、糸魚川の新鮮野菜など、県内や地元のうまいもん(おいしいもの)がたくさん取り揃えられています。



↓店内の休憩スペース  
お肉屋さんなのに…ドリンクバーがあります！  
(こんなのはおいて//)  
Free Wi-Fiで快適に周辺情報を調べられます。



↑糸魚川の伝統的なお茶「バタバタ茶」は取り扱っています。



学生のつづやき

店内はおしゃべりして明るく、休憩もしやすい雰囲気。駅長さんはとても優しく、道に迷った方でも優しく教えてくれます。また周辺の情報はこちらで聞いてみてください！

11E032 滝沢 晶



取材の様子→



↑駅長の平次さん

# 片貝あられおせんべいの駅

## 越後製菓(株)片貝工場



新潟県産のお米を使った純国内産おせんべいを作りたいと努力した結果、今秋から販売します。



「かちかりの種」は、選れた割れせんべいではなく、わざと割って味をしみこませている、手間のかけた製品です。(美味しかったです)



なんと侍と4R5! 某人気アニメと勝手にコラボしたポスターも



越後製菓株式会社片貝工場  
〒942-0101  
新潟県小千谷市片貝町1980-1  
TEL: 0258-84-2036  
FAX: 0258-84-4000  
定休日:

平成26年度作成



自社製品の宣伝・販路網の拡大に役立てようと、3年前にまちの駅に参加しました。効果は...です。



広い庭園があり、ロビーには新潟県出身の羽下修三氏や林昭三氏の彫像が数多く飾られていて、美術館のようです。



### 学生のつぶやき

お忙しい中、非常に丁寧に対応していただきました。仕事に対する真摯で謙虚な考え方は、とても参考になりました。「まちの駅」としての機能は、工場なので少し弱いと思いますが、今後いろいろないイベントなどに参加していくといいと思います。

11E044 目黒 達典

# よしかわ杜氏の郷

主要地方道・新井柿崎線沿いの道の駅でもある「よしかわ杜氏の郷」は、お酒と野菜をメインに販売している「まちの駅」です。お酒は手頃な価格のものから高級なものまでいろいろ並んでいます。お酒を使ったデザートも豊富です。野菜は地元産の旬がたくさんそろっています。  
土日は観光客も多く、大変賑わいます。



ここには、お酒をつくる設備のほかに健康やサプリメントなど、お酒にまつわるものが展示されています。



お酒を使ったジェラート

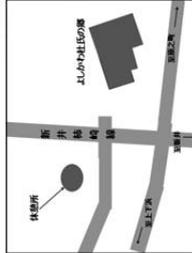


よしかわ杜氏の郷で売られているお酒の壺々です。



よしかわ杜氏の郷名物、お酒の麹をつかったジェラートが人気です。ジェラートには麹が入っているためお酒の風味もあり、甘さも抑えめで人気です。このジェラート以外にもお酒「有りがたし」で作られたゼリーも人気商品でおいしかったです。

緑豊かな自然に囲まれ、マイナスイオンに溢れています。ぜひ、立ち寄ってみてください。



株式会社よしかわ杜氏の郷  
〒943-3449  
上越市吉川区杜氏の郷「番地」

TEL: 025-548-2331  
FAX: 025-548-2322  
営業時間 9:00~17:00  
定休日 月曜日

平成26年度作成

# まちの駅 亀田の郷

(NPO法人環境パル21)



このまちの駅は、亀田を盛り上げるためにNPOの方々が集まって活動しているまちの駅です。ここで活動されている10人の方はそれぞれ別の仕事を持っています。日本一小さいまちの駅という事ですが、去年だけで2万2千人が来場されたそうです。大衆人気のまちの駅です。



店内の様子



人気のアロニアや花など 新鮮野菜がなんと100円から



**駅長の坂井さん**  
“亀田”は地味で知名度が低い所なので、何とかみんなに知って欲しいので、NPOを立ち上げました。

農家の方が育てた野菜が朝から売られており、お値段は格安で、さすが産直という感じでした。伺ったのがお盆過ぎだったのでたまたま品数は少なかったのですが、その季節の旬な野菜が並ぶそうです。

〒950-0185  
新潟市江南区西町2丁目3-24  
TEL 025-383-5595  
FAX 025-383-5590  
(年末・年始のみお休み)



## 学生のつばやき

写真には写っていないのですが、地元製菓会社のかわれせんべいさんが格安で売られており、正画買って帰りました。店内は少し小さかったのですが、雰囲気も良く、駅長さんは気さくな方で、詳しく話をしてくださいました。本当に楽しいビブリングをさせていただきました。11E044 日黒 達典

平成26年度作成

# まちの駅 一寸いっぷくよらんかね

(特定非営利活動法人 ねっとわーくエプロン)

## <まちの駅の紹介>

築80年以上の建物を借りて大切に使用しており、自由に休憩したり本が読めるスペースがあります。お店の奥の部屋は、趣味の会などの人たちの休憩スペースになっています。NPO法人をしながら、活動の1つとしてまちの駅をやっています。



誰でも気軽に寄れる場所づくり、家にこもりがちな若い人たちの社会復帰の手伝い、町の活性化etc.  
駅長さんにはやりたい事が山ほどあるそうです。



きれいな花と休憩スペースで癒されます。



## 学生のつばやき

洋服と花と一緒に売られています。火曜日には野菜の販売、第一金曜日にはランチサービスなどがあるそうです。ぜひ行って見てください。2階からある眺めも快適です。駅長さんはボランティアで、トホトルのキャップ整理をやっています。大学でもキャップを集めていますが、その先がどうなるかわりませんでした。駅長さんから800個で1人分のワクチンになるとお聞きして、大変驚きました。今後は心して協力します。

12E031 丸山真司

〒959-0129  
新潟県東蒲原郡本町3丁目1-19  
TEL : 0256-98-5630  
FAX : 0256-98-5630  
営業時間 : 8:30~15:00  
休 み : 日曜日、祝日

平成26年度作成

# 新潟まちの駅

〒950-0943  
新潟県新潟市中央区女池神明3-4-9  
TEL:025-384-0011  
FAX:025-384-4089  
URL: <http://www.niigatamachinoeki.com>

## まちの駅の紹介

中央区にある小規模多機能ホームも併用した、地域の交流の拠点です。平成18年にまちの駅になりました。  
基本は有料ですが、様々なイベントを開催しています。

## 主なイベント

- みんなで歌おう  
～四つ葉のクローバーと仲間たち～  
《第1, 2金曜日》
- 手作り＆おしゃべり  
《第1, 3木曜日》
- 歌謡健康体操  
《第2, 4火曜日》



他にもたくさんあります。  
気に入った方は「にいがたまちの駅」で検索してみてください!

お年寄り同士のコミュニケーションを構やしたい、地域を活性化させたいと熱く語る窪田さんは、とても気さくで話しやすい方です。喫茶コーナーもあるのです。ぜひ一度立ち寄ってみてください。

キレイなトイレでした。気軽に使ってください。



新調の情報誌が盛りだくさん!

学生がつぶやき  
私たちが訪ねた時、すでに地域の方々がたくさんいらっしゃいました。駅長の窪田さん始め、スタッフのみなさんと楽しく談笑していらつやつやって、なんて温かい場所なのだろうと感じました。  
このような場所が増えていくことで、地域の連携がより強くなっていくことを願います。

11E030 高野 綾夏

平成26年度作成

# Befcoばかうけ展望室 (朱鷺メッセ31階)



晴天の日はこんな景色です



見事な夜景

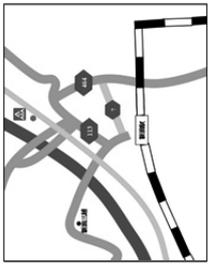
地上125mと日本海随一の高さを誇る、3, 1階にある展望室で、新潟市街地はもちろぬ、日本海、佐渡が島、五頭運峰などの雄大な景色を眺めることができます。夜景、百選に選ばれ、夜景遺産にも選ばれるほど眺めの良い場所で、スカイラウンジもあり、多くの方が来場されるそうです。  
「Befcoばかうけ展望室」という名称は、株式会社粟山米菓が命名権を取得し、2009年12月1日より使用しています。  
イベントなどに利用され、地域の人たちに愛されている場所です。



お土産コーナーには、新潟県限定の商品と、「ばかうけ」が並んでいます。



スカイラウンジ PANORAMA



展望室開館時間: 8:00～22:00  
(最終入場21:30)  
金曜日のみ閉館が17:00  
(最終入場16:30)  
入場無料  
休館日: 年中無休  
TEL/FAX: 025-240-1511  
新潟市中央区万代島5-1 万代島ビル31F



## 学生がつぶやき

私たちがヒアリングに伺った日は大雨で、残念ながら絶景という景色は見られませんでした。  
お天気の良い日は素晴らしい景色が見られます。ぜひ、行ってみてください。

11E044 目黒 達典

# 新発田商工会議所分館 まちの駅

## 【新発田商工会議所】

現在は旧新潟中央銀行新発田支店の跡地で建物を活用して新発田商工会議所分館（まちの駅）となっています。施設内にはパートサテライトや高齢者就職相談室など産業界・支援が行われています。

### 学生をつぶやき

私自身新発田市を訪れたのは今回が初めてでした。新潟駅から白新線に乗り換え40分程で着きました。新発田駅はとて立派な駅です。職員さんや駅長さん、事務局長の加藤康弘さんと就職支援担当の見田一雄さんと接してくれました。お二人とも親身になって私たち学生と接してくれました。8月末には新発田祭りがあり、友達を連れて是非参加したいです！

11E001 伊佐夏美



新発田商工会議所分館前で一枚！写真右が加藤さん、見田さんです！お二人からは「駅前通りの複合施設と協力して新発田市全体を盛り上げていきたい」という強い思いを聞かせていただきました。

### はつらつ仕事館

求人者への情報提供を行う場所として大勢の方が利用されています！



パソコンも備えてあり求人情報も確認できます！



隣に休憩スペースもあり一息するのにも良いですね！



求人一覧です。毎回新しい求人が更新されます。気軽に足元を運んでみてほしいかでしょうか！

平成26年度作成

# まちの駅 よろずセンター 新発田学研究センター



〒957-0056  
新発田市大栄町1-1-1  
TEL 0254-26-6038  
●営業時間 7:30~18:00  
●定休日 水曜日、日曜日、祝祭日、年末年始及び夏期の敬和学園大学の休業期間（予定）



### まちの駅紹介

まちの駅よろずは、新発田市商店街の旧まわりも書店に位置し、市民、商店街の交流の場、休憩の場として誰でも自由に利用できるコミュニティ施設です。主な利用方法として、第一はバス待ちにちよつと休憩しながらゆつたりお茶を飲む。第二は商店街、新発田のイベント関連情報を探す。第三は学生に話しかけて、気軽に雑談をして楽しむ。第四は蔵書を眺む、借りる。よろずは新発田観光の休憩拠点としてお待ちしております。

平成26年度作成



正面玄関

### 学生をつぶやき

大学がまちの商店街に店を出して、学生が運営してまちの駅は珍しくなかなか素晴らしい。よろずは写真をご覧のように豊富な機能も備えて、不定期でイベントも催される。純大に行く価値がある。

11E401 劉洋



活動のお知らせ



バスの時刻表



集合写真



休憩スペース



ミニ図書館

# まちの駅・いろいろ茶屋火処

ここは厚生橋の近くで、昼はランチのある居酒屋さんです。  
 駅長さんは、料理にとってもこだわりを持っています。串焼き、特に鮎の塩焼きなどが美味しいです。家族連れには和室が人気です。  
 長岡大花火大会の時は、お客様がとてども多いそうです。  
 市内、県内、遠くは青森までイベント等々に出ています。気軽に声をかけてください。  
 そして、ぜひ、一度立ち寄ってみてください。



赤い看板が目印です。

## 駅長さんのお話

こだわり料理を作るべき！  
 料理だけではなく、ゆったりとした時間を感じてもらえる  
 ような雰囲気も大切だと思っています。

- 〒 : 940-0086
- 住所 : 新潟県長岡市草生津1丁目5番17号
- TEL : 0258-34-8700
- FAX : 0258-34-8705
- 営業時間 : 11:00~23:00
- ランチ : 11:00~14:00
- 休み : 不定休



## 学生をつぶやき

人生は何事もチャレンジだ！  
 40代の駅長さんは、前職を辞めて居酒屋を始めました。暑気が悪いと言われる2月にも、積極的なイベントを計画して頑張っています。  
 何事にもチャレンジする勇氣と人柄に感動しました。  
 12E401 蘭 海潮



# とちぱル

栃尾秋葉門前商工プラザ

## まちの駅紹介

「とちぱル」は、火防日本総本舗「秋葉神社」門前脇の栃尾地域中心商店街の一角にあり、「にぎわい拠点・コミュニティの場」と「商工会館」が一体となった複合施設です。ここは、情報発信場所、休憩スペース、交流の場所として、地域に活用されています。全国に名前を募集した「とちぱル」の由来は、栃尾に「仲間や友達が集まる」という意味です。



名物の「栃尾あびらけ」も、先生からご馳走して頂きました。美味しかったです。



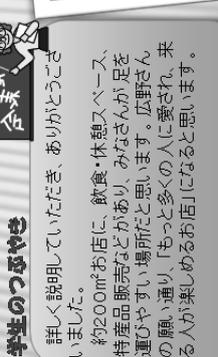
まちの駅になって約半年ですが、「昭和レトロ生活用具展」、「ドライブラワー体験」、「栃尾てまり作りの実演」など面白いイベントを開催しました。展示紹介コーナーはこれから栃尾ならではの色々な企画が予定されています。ドライブラワーと栃尾てまり作りは、体験教室もやっています。

## 学生をつぶやき

詳しく説明していただき、ありがとうございます。

約200㎡お店に、飲食・休憩スペース、特産品販売などがあり、みなさんが足を運びやすい場所だと思います。広野さんの願い通り、「もっと多くの人に愛され、来る人が楽しめるお店」になると幸いです。

12M401 穂花



〒940-0227 長岡市谷内2-5-9  
 栃尾秋葉門前商工プラザ1階「とちぱル」  
 Tel : 0258-53-5104  
 Fax : 0258-53-5104

# まちの駅 伊丹

## 【洋品の伊丹】

長岡市神田町にある衣料品店です。紳士服・婦人服を主に扱っています。創立は昭和10年10月10日になります。案内をしてくれたのは二代目の伊丹功さんです。



大勢のお客様が来店されます。店内は普段着から下着、靴下までおいてありました。



現在は紳士服・婦人服を扱っていますが昔は帽子やネクタイ・傘も取り扱っていました。



お隣のカレージ

## 学生のつばやき

大手通りに交差する三国街道沿いと言う事で私は車の駐車が心配でした。しかし伊丹さんが洋品の伊丹まちの駅裏専用駐車場までわざわざ誘導をしてくださり、本当に助かりました。専用駐車場があることで利用者も安心して買物ができるようになりました。

11E001 伊佐 要美



外には広島やイベント情報などが掲示されている看板は伊丹さんお手製です！



カレージにある休憩スペースです。お茶を飲みながら伊丹さんの作品をみるのも良いですね！



## 専用駐車スペース

お店正面に案内看板もありです

## お店に飾られたらココに注目

和紙を使用した作品

絵画や紙工芸や詩吟など多くの趣味をお持ちの伊丹さん！



山崎家の屏



お店の中にはたたくさんの力作が展示されています。ここだけではなく神田小学校や日赤病院にもあります！



〒940-0052  
長岡市神田町3-1-7  
TEL.FAX/0258-32-2233  
営業時間/8:00 ~ 19:00  
休業日/日曜日  
駐車場/7台あり

平成28年度作成

R353沿いのドライブイン！

# 溪谷の駅

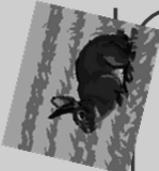
(ラピース雪街道)



〒949-8435  
新潟県十日町市角間末1523  
TEL: 025-763-4545  
FAX: 025-763-4546

売店: 9:00~17:00  
(12/1~3/31は、10:00~16:00)  
食事処: 11:00~14:30  
休業日: 水曜日定休  
(12/1~3/31は、火・水がお休みです)  
駐車場あり

平成26年度作成



## まちの駅の情報

十日町市にある、清津峡と瀬戸溪谷の間に位置することから、「溪谷の駅」と名付けられました。中里地域の農産物や、民芸品、魚沼産コシヒカリ、地酒などを購入することができます！また、お食事処で地元野菜を使った料理を食べることができます。(予約団体での利用も可能です) 駅長さんおすすめめめの季節は、秋の紅葉と、春の新緑の季節です(´▽`)!

情報ブースには、地域おこし協力隊の冊子や、地域の情報誌が豊富に取りそろえてあります！



←駅長の関正富さんに、お話を伺いました。落ち着いた雰囲気の内、外の風景を見ながら休憩することもできます。

## 学生のつばやき

山中にあるまちの駅です。カーブを曲がると「溪谷の駅」の看板が見えます。(見えるとほっとします) 館内には中里地域や周辺の地域の写真が貼ってあります。ドライブの休憩、道案内ならこの駅におまかせ！  
11E032 滝沢 晶

地元農家さんから、直接入れた野菜たち(雪下になじんの水産もアリマス)！



←地酒は、天神灘子、搦場山など



地図

### 3.5 悠久祭でのパネル展及び物品展示

この企画は6年前から始まっており、まちの駅の紹介パネルと、各まちの駅の物品等を一緒に展示し、多くの方にまちの駅をPRするものである。

#### (1) パネル展準備

パネル展示は担当者を決め、手分けして作業をした。

展示物を受け取りに行く際は、学生がアポイントメントを取り、各まちの駅へ伺った。展示物の貸出状況が分かるようリストを作成し、お借りしたのから随時記入をし、確認できるようにした。

新たな取り組みとしてネーブルみつけの中川さんからお借りした「まちの駅ネーブルみつけの紹介DVD」を上映するためのスクリーンの準備も行った。



新たに加えたまちの駅

#### (2) パネル展当日

今年度は午前と午後に分かれてパネルの説明や来場者数のカウントを行った。2～3人のゼミ学生が交代で行った。



当日の様子

#### (3) パネル展終了後

お借りした展示物は、翌日各まちの駅へ返却に伺った。その際に物品展示の様子の写真もお渡しした。

#### (4) パネル展及び物品展示取組結果

今年度のパネル展来場者数は317名であった。昨年度より96名下回る結果となった。天候にも恵まれ、新しい取り組みとしてDVDを上映する試みをしたが、昨年度を上回る結果には至れなかった。しかし、来場してくれた方々には学生自らが「ここはこんな駅でした」や「今年新しく行ったまちの駅はこちらです」等、積極的に取り組みを発信することが出来た。



ご来場ありがとうございます。  
ございました。

#### (5) パネル展及び物品展示の反省点・課題

反省点は、全てのゼミ生が平等に学園祭準備を行えていなかった点である。学園祭に向け、ゼミ時間外で集まる機会を設けたものの、講義やアルバイト等の理由でなかなか参加できない学生もいた。役割分担をしたが、報告や連絡が遅くなり、作業が滞ってしまうこともあった。



来場者数 317名

また、物品を借りるための交通手段である自家用車を所持している学生が2人しかおらず、1人にかかる負担が大きくなってしまった。多くの課題があるので、来年は一つひとつクリアできるよう努めてもらいたい。

### 3.6 ホームページの更新

今年度は、新しく作成したまちの駅紹介パネルを載せて、更新を行った。なお、このページは、長岡大学ホームページ内の地域活性化プログラムのページにリンクが繋がれている。私たちが制作したホームページによってひとりでも多くの方が「まちの駅」に興味を持ち、実際に訪ねて頂けるようになることを願っている。

#### (1)全体像

デザインは昨年と同様のものを使う。

#### (2)各項目の説明

##### <まちの駅とは>

「まちの駅」をご存知でない人のために、「まちの駅」の簡単な解説を入れ込んだ。

詳しいことは、まちの総合情報交流拠点「まちの駅」公式サイト「まちの駅どっと混む (<http://www.machinoeki.com/>)」で調べられるようにリンクをつけた。

##### <活動概要>

ここでは昨年度までと今年度の鯉江ゼミの活動を紹介した。

また、県内の「まちの駅」を紹介するため、「越後長岡まちの駅（市のホームページ内 <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/kurashi/cate13/machi/>）」、「まちの駅 ネットワークみつけ (<http://www.mitsuke-machinoeki.com/>)」、「まちの駅 糸魚川ぷらっと (<http://itoigawa-honchodori.net/itopla.html>)」とリンクを繋げた。

##### <まちの駅一覧>

まず、地域で分けて検索ができるように、地域ごとの検索ボタンを設置し、下にあるリストに飛べるようにした。また、まちの駅名とともに個々の基本情報も載せた。まちの駅名をクリックすると、学生が作成した「まちの駅紹介パネル」を見ることができ、さらに詳しい情報が見られるようになっている。

##### <昨年度からの変更点>

新たにリストに加えた「まちの駅」にはNEW!とつけ、目立たせた。

地域一覧が13地域から20地域に広がった。

● ホームページの上部

長岡大学地域活性化プログラム

# 新潟 まちの駅まちの駅の紹介

作成日:2011/01/18  
更新日:2014/01/08

## まちの駅とは

- 広い敷地の公共施設、どこか懐かしいまちかどのお店。様々な施設・空間に設置することができます。
- 人と人との出会いと交流をサポートし、まちの情報発信拠点になります。
- 詳しくは→[まちの駅どっとこむ\(地域交流センター\)](#)





## これまでの活動概要

平成19年度 「まちの駅」についての調査を開始。  
 平成22年度 長岡地域にある50の「まちの駅」全てにヒアリング調査を行い、各「まちの駅」紹介パネルの作成。  
 平成23年度 長岡地域の「まちの駅」が50駅から更に57駅増え、変更箇所などを直しパネルを新たにリニューアル。  
 平成24年度 見附地域の「まちの駅」37駅をすべて調査。  
 まちの駅による地域への影響についてアンケート調査を実施。  
 まちの駅紹介パネルを作成。  
 平成25年度 糸魚川地域の「まちの駅」10駅をヒアリング調査。

● ホームページの中部

## まちの駅一覧

※「まちの駅」125駅の紹介パネルは、PDF文書です。「Adobe Acrobat Reader」でご覧いただけます。

長岡地域	中之島地域	越路地域	三島地域
山古志地域	小国地域	和島地域	寺泊地域
栃尾地域	与板地域	川口地域	見附地域
糸魚川地域	五泉地域	新発田地域	新潟市地域
上越地域	十日町地域	燕地域	小千谷地域

 **ながおかまちの駅** アオーレ長岡 情報ラウンジ  
 〒940-8501長岡市大手通1-4-10 TEL/0258-39-2761 FAX/0258-39-2308

 **越後長岡 酒と味の駅** (有)佐田酒店  
 〒940-0067長岡市関東町11-6 TEL/0258-32-3517 FAX/0258-34-3617

 **健康の駅 四郎丸交流空間 わいが家** 健康の駅 四郎丸交流空間 わいが家  
 〒940-0042長岡市土合4-1-14 TEL/0258-30-1161 FAX/0258-30-1175

### 3.7 平成 26 年度まちの駅全国フォーラム in 本庄 第 17 回まちの駅全国大会

#### 3.7.1 概要

##### (1)趣旨

「まちの駅」は“まちの案内所”“地域の茶飲み場”として、既存の施設・空間（公共施設・民間商店等）を自発的に開放する活動で、平成 10 年からスタートした。各地の「まちの駅」では、“郷土愛”をもった駅長・駅員が、地域の人や来訪者を“もてなしの心”で迎えるとともに、地域の魅力を発信している。“駅”のネットワークにより、地域全体の魅力を高めていこうという動きとともに、全国各地でまちの駅同士の交流・連携も進められてきた。

全国フォーラムは、そうした全国各地のまちの駅仲間が一堂に会して、それぞれの取り組みを紹介しあったり、課題を一緒に考え、個々の地域に持ち帰り、実験・反映する場として、毎年開催しているものである。

##### (2)今大会のねらい

- ① まちの駅各地の取り組みを全国、埼玉県内の方々に PR し、認知度向上を図る。
- ② 秩父市や熊谷市等にまちの駅の新規設置を促すキッカケとする。
- ③ これからのまちづくりに向けて、まちの駅の可能性を検討する。
- ④ お互いの実践活動から学び合い、自分たちの活動に活かす知恵の交換の場とする。
- ⑤ 全国からの来訪者、参加者に本庄の特徴・良さを知ってもらう。
- ⑥ 本庄市に存立するまちおこし、まちづくりを志向する団体に声がけし交流を深める。

##### (3)開催日

平成 26 年 10 月 31 日(金)と 11 月 1 日(土)の二日間

##### (4)会場

本庄市民文化会館

##### (5)主催

全国まちの駅連絡協議会、まちの駅ネットワーク本庄実行委員会

##### (6)共催

本庄市、本庄市商工会議所

##### (7)後援

総務省、観光庁、埼玉県、公益財団法人本庄早稲田国際リサーチパーク、  
本庄市私立保育長会

#### 3.7.2 参加した企画

##### (1) 一日目 (10/31 金)

【会場：本庄市民文化会館】

- 11：20～11：50 全国まちの駅連絡協議会 総会
- 12：20～13：15 ランチミーティング
- 13：30～16：00 全体会（フォーラム「まちの駅一座」＜一般公開＞）
- 16：10～18：15 ワールド・カフェ（テーマ：まちの駅について語り合おう）
- 18：45～ 交流会（会場：埼玉グランドホテル本庄）
- 12：00～16：30 物産展示販売（同時開催）

<連絡協議会、ランチミーティングの様子>



今年度のまちなかの駅全国大会とフォーラム会場である。JR高崎本庄駅南口より徒歩20分程度だった。緊急時の避難所に指定されている。普段は音楽会や演劇などさまざまなイベントを催している。

始めに参加したのは、全国まちなかの駅連絡協議会 総会である。予算のことなど、難しいお話ばかりで、学生はちんぷんかんぷんだった。



ランチミーティングではまちなかの駅の皆さんが集って、昼食を食べながら互いのまちなかの駅を紹介し合ったり、気軽な会話を楽しんだ。

北海道から沖縄まで全国各地にあるまちの駅の特産品を集めて、物産展示販売が行われていた。



本庄市にある4箇所の幼稚園の子供たちが僕たちを向かえてくれた。旗を一生懸命にふる子供たちが可愛らしかった。

フォーラムの始めは会長ご挨拶、開会の挨拶、来賓の方々のご挨拶の流れになった。



<フォーラムの様子>



<ワールド・カフェの様子>

ワールド・カフェとは、少人数のグループに分かれ、意見を交換しあうものである。テーマは「まちの駅について語り合おう」だった。前半のまちの駅一座の内容をうけて、まちの駅について熱く語り合った。異なる地域や立場の方とのお話を通して、互いの思いや経験を共有することができた。うまくいくことばかりではないようだが、このように意見を交換し合うことで、他の地域のまちの駅の良いところを参考にする姿勢が見られ、まちの駅としての方向性を見つけることができた地域が多いのではないかと感じた。やはり話し合うことが地域の関係性を深めていくのだと考えた。また、他の地域のまちの駅の取り

組みを知って行くことも必要だと思った。また、一番重要なのは、まちの駅の人たち自身が楽しみながら取り組むことだと考え、そのためにも、積極的に意見を交換しあえる今回のまちの駅全国大会のような取り組みを小規模でも定期的に行うべきだと思った。



#### <交流会の様子>

一日目の最後は、待ちに待った交流会である。実行委員会の方のご挨拶を皮切りに始まった。派手な演出もある中、豪華な食事を頂いた。学生たちは、始めは食事をするだけだったが、次第にお酒が進むにつれ、まちの駅の方たちともお話をするようになり、交流を深められたのではないかと思う。ちなみに、お酒はそれぞれの地域の地酒が用意されてお



り、利き酒をしながら楽しんだ。また、各地域の方たちが壇上に上がり、それぞれ個性溢れた紹介が繰り広げられた。僕たち新潟地域も、見附のまちの駅のひとつ、おもてなしの駅の駅長さんが歌を歌い出し、盛大に盛り上がった。



## (2) 二日目(11/1 土)

二日目はエクスカージョンに参加した。アイスクリーム工場見学などの別の楽しそうなエクスカージョンもあったが、まちの駅の調査で行っているのだから「自転車でのまちの駅散策」に参加しなさいという指示が鯉江先生からでた。当日は雨のため、自転車散策は中止となり、「に・コース 町並み散策と七福神めぐり」に参加することになった。

### <エクスカージョンのスケジュール>

#### 「に・コース」 ～町並み散策と七福神めぐり

- |             |  |
|-------------|--|
| 9:00        | 集合 (本庄駅インフォメーションセンター・多目的ホール)   |
| 9:00～9:30   | コース説明  |
| 9:30～12:30  | レンタサイクルの駅→大正院→円心寺→開善寺→石舞台の駅<br>→小笠原信嶺の墓→諸井家住宅→慈恩寺→田村本陣の門<br>→歴史民俗資料館→お大師様が立ち寄れる駅→普寛霊場<br>→安養院→佛母寺→金鑽神社→泉林寺→城立寺<br>→インフォメーションセンター |
| 13:00～14:00 | 昼食   |
| 14:00       | 解散   |

<エクスカージョンの様子>



大正院は、本庄市の七福神巡りの寺で本庄三弁天の一つである。七福神の弁財天を祀っている。弁財天は、七福神の中で唯一の女神で、知恵、財宝、愛嬌、縁結びのご利益があるといわれている。

円心寺に近付くと、まずは山門が迎えてくれた。これは天明年の建立と伝えられ、安定した美しさから市の指定文化財となっている。ここに祀られている武州本庄七福神は福祿寿である。招徳人望の神様として信仰されている。



この寺には、本庄市指定文化財として、小笠原信嶺夫婦の墓、朱印状を収めた朱印箱、開善寺境内地図、武田信玄公画像がある。開善寺の神様は「布袋尊」である。中国の神で、七福神の中で唯一実在した布袋和尚である。福德円満をもたらすといわれる。

まちの駅「石舞台の駅」は創業 90 年の伝統と実績を持つ、お墓づくりのエキスパートで、1 級技能士・お墓ディレクターの資格、職業訓練指導員免許を持つベテラン職人が、ひと彫りひと彫り、まごころをこめて、着実、ていねい、スピーディーに仕上げるのが自慢のお店である。



慈恩寺では、銭洗い弁天を祀り、龍の口から出る水で銭を洗うと財宝に恵まれると言われる。

「歴史民俗資料館」は明治 16 年に建てられたモダンな西洋建築で、旧本庄警察署であり、県の有形文化財に指定されている。人形埴輪などがたくさんあった。





まちの駅「お大師様が立ち寄られる駅」のお店は、明治期に建てられたそうだ。名物の武州栗羊羹は、第23回全国菓子博において、内閣総理大臣賞を受賞した。さらに平成16年には、天皇・皇后両陛下にお召し上がり頂いた逸品だ。

普寛霊場は本明院木食普寛行者の墓があり、普寛行者は越後八海山、上州武尊山等を開山し、特に1792年、普寛62才の折に開いた木曾御嶽の登山口は、王滝口と命名されその功績を今に伝えている。



安養院の境内にある伽藍3棟と小倉家の墓碑は、市の指定文化財になっている。安養院の神様は「毘沙門天」である。インドの神で多聞天とも言われる。四天王の一つで、北の守り神だ。知恵と勇気を授けてくれる。

佛母寺火災や明治新政府の神仏分離令で一時、廃寺となったが、明治20年に、檀信徒が復興に努力して本堂・庫裡を再興したそうだ。本庄の弁財天は珍しく三つあり、ここがその一つである。よどみなく流れる弁天様の声には寿命増益のご利益があるとされている。



中山道沿いにある大きな煉瓦造り倉庫は、明治29年に建てられた繭や生糸の保存倉庫である。昭和51年からはローヤル洋菓子店として使われていたが、平成23年から本庄市の所有となった。本庄市が建物の調査を行ったところ、深谷市の日本煉瓦製造(株)が製造した煉瓦を使用していたことが判明したそうだ。

城立寺は本庄市中心街銀座3丁目、三交通りの城立寺境内にある。城立寺の神様は「大黒尊天」である。財宝、福德開運の神様として信仰されている。





昼食の様子



集合写真

### 3.7.3 まとめ

#### (1)参加動機

鯉江ゼミでは平成19年度より、「まちの駅」をテーマに調査研究活動を行ってきた。大学がまちの駅になるのは全国でも珍しく、「まちの駅 長岡大学」の一員として、積極的に活動していきたいと思った。

#### (2)参加目的

まちの駅各地の取り組みや現状を知り、「まちの駅」の理解を深めるためである。それを踏まえて、まちの駅 長岡大学、また新潟の全まちの駅の今後の研究や活動に役立てるためである。

#### (3)参加による気づき

まちの駅同士の交流と提案を出せる場を常に設置することが必要である。また、年に一度ではなく、まちの駅全国大会のような他の地域とも積極的に関われる場も定期的を開催する必要があると思った。

また、駅長たちの中で、リーダーのような存在が大切という話があった。そのために、まちの駅間の交換研修（または見学）を行い、まちの駅の発展、人材育成を図る事を提案する。

### 3.8 まちの駅や地域におけるボランティア活動への参加

ボランティア活動への参加目的は、地域の人々との交流や地域への貢献である。

今年度の鯉江ゼミが参加したボランティア活動は1つだけである。ゼミ生の都合が合わず、交通手段にも影響があったことなどが重なり、参加できたボランティアは「今町商店街主催 百縁商店街」だけとなった。

今町商店街でのボランティアでは、ゼミ生を含め6名の学生が参加した。各2名ずつ三か所の持ち場に別れ、それぞれが各自の持ち場で子供たちや保護者の方を楽しませていった。

今町商店街主催 特得バザール/百縁商店街	
日時：10月11日 場所：見附市今町商店街 依頼先：お菓子の駅	<ul style="list-style-type: none"><li>・今年は参加学生が少なく、移動手段にも問題があったため、手伝ってもらった学生と一緒に参加した。</li><li>・イベントの主な仕事として、輪投げ、射的、抽選会に各2名ずつ分かれ各持ち場の役割を決め、テキパキと仕事をこなしていった。</li><li>・子供たちが元気よく参加してくれたおかげで、景品が午前中でほとんどなくなってしまった。</li></ul>
参加者 鯉江ゼミ：目黒 達典、劉 洋 学友会：山田 里津子、高橋 良樹、本間 将嗣、中原 沙貴美、廣川 友香	



抽選会場で地域の人と交流



輪投げコーナーを担当

## 4. まちの駅間交流会の実施

### 4.1 第1回新潟県内のまちの駅交流会の概要

#### (1) 日時

平成26年11月15日(土) 14:00~18:30

#### (2) 場所

<交流会(14:00~16:00)> 長岡大学第5会議室

<懇親会(16:30~18:30)> 長岡大学地域交流ホール

#### (3) 主催・司会

鯉江ゼミナール・鯉江 康正 教授

#### (4) 内容

1. ごあいさつ・・・長岡大学学長：内藤 敏樹
2. 鯉江ゼミの「まちの駅」活性化の活動について・・・長岡大学教授：鯉江 康正
3. 「新潟県内のまちの駅情報発信とまちの駅間交流の実施」の報告・・・鯉江ゼミ学生  
講評 アドバイザー：まちの駅ネーブルみつけ 中川 一男 氏  
講評 アドバイザー：長岡市市民協働推進室 安達 一啓 氏
4. まちの駅のPR・・・おもてなしの駅駅長 若杉 尚子 氏
5. まちの駅ネットワークみつけについて  
・・・まちの駅ネーブルみつけ駅長 中川 一男 氏
6. 学内見学(16:00~16:30)
7. 懇親会(16:30~18:30)  
乾杯 長岡市政策企画課長 中村 英樹 氏  
ごあいさつ まちの駅長岡大学駅長 品川 十英(長岡大学事務局長)

#### (5) 参加者

これまでヒアリングした全地域のまちの駅125駅に葉書を郵送し、参加を募った。  
以下が参加して下さったまちの駅である。

(敬称略)

駅名	施設・店等の名称	駅長
森の駅	木々(ココ)	森の仲間 辺見 雅信
カーライフステーション	愛車広場カーリンク見附店 ホンダ自動車(有)	久住 幸靖
おもてなしの駅	キッチンカフェ アンサンブル	若杉 尚子
まちの駅ネーブルみつけ	市民交流センターネーブルみつけ	中川 一男 関 賢策
長岡市長政策室政策企画課		課長 中村 英樹
花火の駅	長岡花火ワールド悠	長谷川 栄久子
ながおかまちの駅	市民協働センター	高橋 秀一
越後長岡まちの駅ネットワーク	市民協働推進室	安達 一啓
地域交流センター		稲葉 建

< 学生参加者 >

4年：伊佐 夏美、高野 綾夏、滝沢 晶、目黒 達典、劉 洋  
3年：丸山 真司、ショウ 花、蘭 海潮

< 教職員参加者 >

学長：内藤 俊樹 事務局長：品川 十英 教授：鯉江 康正  
事務：山田 満智子、恩田 麻未

## 4.2 第1回新潟県内のまちの駅交流会の流れ

### ①交流会

#### (1)ごあいさつ

鯉江先生の司会を皮切りに、長岡大学第5会議室で、第1回新潟県内のまちの駅交流会は始まった。

内藤学長が簡単な挨拶をしてくださった。



鯉江先生の司会の様子



内藤学長のごあいさつの様子

#### (2)鯉江ゼミの「まちの駅」活性化の活動について

挨拶が終わると、鯉江先生が鯉江ゼミナールのこれまでの活動を簡単に説明した。

鯉江ゼミは平成19年度より、「まちの駅」をテーマに調査研究活動を行っており、今年で8年目を迎える。始めた当初は、ヒアリングを行ったまちの駅が少なく、まちの駅紹介パネルも少なかったが、8年もこの研究活動を行ったことで、125枚ものまちの駅紹介パネルを完成させることができ、“継続は力なり”の言葉が見合う活動ができている、と語った。



活動紹介の様子

### (3) 「新潟県内のまちの駅の情報発信とまちの駅間交流の実施」の報告

発表は4年の劉洋と高野綾夏の二人が行った。30分の発表時間を頂いたので、発表スライド作りにはかなり力を入れた。

ヒアリングから悠久祭のスライド作りは高野が担当し、まちの駅全国大会部分は劉が担当した。また、同じく4年の目黒達典がボランティア、今後の予定部分を担当した。どのように発表するのが効果的かを考えながら、およそ2週間かけて完成させた。

発表練習にも力を入れた。それぞれがスライドに合わせ、何を話すべきかを考えた。30分にも及ぶ発表のため、聞いている方たちが飽きないように、話し方や内容に工夫をした。鯉江先生にダメ出しを頂き、無事本番を迎えることができた。

発表を終えると、まちの駅ネーブルみつけの中川さんや、長岡市市民協働推進室の安達さんに、講評を頂いた。私たちの発表も高評価を頂き、ほっと一安心した。



学生が活動報告する様子



発表スライドを作成する様子

#### (3-1) アドバイザー：まちの駅ネーブルみつけ 中川 一男さんからの講評

中川さんからは、「ヒアリング活動の際、苦労した点は何か」というご質問を頂いた。鯉江ゼミ学生一人ひとりが回答していった。

留学生のほとんどが、やはり日本語に苦労したと答えた。ヒアリングでは自分の言葉がうまく伝わらなかったことや、また、パネル作成では正しい日本語をまだまだ使いこなせていないことなどを挙げた。そのため、まちの駅の駅長さんや周囲の人が優しく対応してくれたことが印象的だったと話した。

他には、多くの駅長さんがいる中で、自分にとって苦手な人に当たってしまうことを苦労した点に挙げた学生もいた。

#### (3-2) アドバイザー：長岡市市民協働推進室 安達 一啓さんからの講評

安達さんからは、「多くのまちの駅の中で、魅力的なまちの駅はどこか」というご質問を頂いた。この質問を鯉江先生が「また行きたいと思うお気に入りのまちの駅はどこか」と簡単に噛み砕いてくれた。これも鯉江ゼミ学生一人ひとりが回答した。

3年生は今年度ヒアリングしたまちの駅を挙げ、「まちの駅の駅長さんが優しく対応してくれたので、また行きたいと思った」、「まだまだ知らないことがたくさんあるので、それを学ぶためにもう一度行きたい」と語った。

4年生も駅長さんの対応が印象的だったまちの駅を挙げた。結論として、駅長さんが明るい、話しやすい、また会いたいと思わせるまちの駅が、また行きたいと思うお気に入りのまちの駅ようだ。今後このようなまちの駅がもっと増えていくことが、まちの駅を広げていく方法のひとつになるのではないか、と考える。



まちの駅ネーブルみつけ駅長  
中川 一男さん



長岡市市民協働推進室  
安達 一啓さん



学生が回答する様子

#### (4) まちの駅の PR

見附市新町にあるキッチンカフェ アンサンブルを営む「おもてなしの駅」駅長 若杉尚子さんからのお話である。

おもてなしの駅は今年度ヒアリングを行った駅のひとつである。ヒアリングの際も、若杉さんの笑顔と笑い声が印象的だった。キッチンカフェ アンサンブルを訪れたお客様にも気軽にお話をしていた。まさに誰からも愛されるキャラクターのようだった。ヒアリング、また今年行われたまちの駅全国大会でもお会いし、この交流会で3度目の交流となったが、どのようなときでも明るく、話していて楽しいと感ずることができる人である。

若杉さんはまず、なぜまちの駅に加わったのかをお話してくれた。「気軽に立ち寄れる喫茶店が無くなってきている現状に、自分にできることを模索し、現在のキッチンカフェ アンサンブルを始めた。その中で、見附のまちの駅の活発な活動を知り、まちの駅のコンセ

プトに合致しているのです、それなら私たちもまちの駅に加わり、見附のまちに貢献したいと考えた。」と語った。

若杉さんは、どのくらいこのお店にリピーターがいるのだろうかと思い、自分の好きなイラストを載せた小さなポイントカードを作った。探してみると意外にポイントが貯まったお客様が多くいらっしまったそうだ。そのようなお客様にはおいしいコーヒーを一杯無料にしたり、デザートを提供したりして、また来てもらうように工夫をしている。若杉さんは“情けは人の為ならず”と話し、今後もこのような工夫を繰り返し、お客様で集う賑やかなお店づくりをしていきたいと語る。若杉さんはこの他にも、自身も所属している“シェイク”という親父バンドで活動しており、様々な企画を考え、活発に活動している。

さきほどの「また行きたいと思うまちの駅はどこか」という質問に、このおもてなしの駅を挙げている学生が多かった。やはり、このように駅長さんを中心に活発に活動をしていくことが、お店にもまちの駅としてもプラスに繋がっていくようだ。また、駅長さんの人柄も、リピーターを増やすには欠かせないものとなっていくと考える。



おもてなしの駅駅長  
若杉 尚子さん

#### (5) まちの駅ネットワークみつけについて

見附市学校町にある「まちの駅ネーブルみつけ」駅長の中川 一男さんからのお話である。

中川さんとは以前から鯉江ゼミナールと交流があり、今年度も大変お世話になった。また、まちの駅全国大会でもお会いし、共に新潟のまちの駅を広めることができた。

中川さんは、先ほどの学生たちのおもてなしの駅の例を取り入れ、こう続けた。「まずは駅長をはじめとしたそこで働いている人たちが、自身の“ファン”を作り出すことが重要だ。そうすれば、必ずまたお店に人が来てくれる。人が来てくれれば、お店は盛り上がる。お店が盛り上がれば、まちも盛り上がる。」と述べ、まちの駅の旗を掲げるだけでなく、そこで実際に働いている人たちが積極的にまちに関わっていく必要があると語った。

また、活発に動いている見附のまちの駅でさえも、問題点がある。それは、「物を売る店」と「物を売らない店」の格差をどのようにして無くすか、である。物を売る店は、その物を買うために人が訪れるが、物を売らない店は何らか理由が無いと人が来ないという格差がある。この格差を無くすためにも、まちの駅という活動をする事で人が訪れ、活性化していけたらと話された。

最後に学生から、「今後の鯉江ゼミナールに何を求めるか」という質問があった。これに、「産官学という言葉があるように、どれひとつ欠けてはいけない要素である。そのため、今後も学生目線の意見が必要となってくる。これまでの活動で、ほとんどのまちの駅を見てきてしまっているかもしれないが、今後も学生がまちの駅を直接見て行って欲しい。直接見ることのできる新たな発見があれば、すぐにでも発信して行ってほしい。」と語った。

## (6) 越後長岡まちの駅について

長岡市中沢にある長岡花火ワールド悠を営む「花火の駅」駅長 長谷川 栄久子さんからのお話である。

越後長岡まちの駅ネットワーク代表でもある長谷川さんは、今年のまちの駅全国大会にも参加しており、積極的に長岡のまちの駅を広めようとしている。

今年、まちの駅を巡って景品をゲットするという「越後長岡まちの駅シールラリーの旅」が開催された。長岡市内 62 か所のまちの駅でシールを集めて応募すると、全員に記念品がプレゼントされ、また抽選でまちの駅自慢の景品が当たるという企画だ。シールに 11 地域のキャラクターを使用することで、それぞれの地域を分かりやすく分けている。

この企画に参加した人が、長谷川さんに「分かりづらい」、「大変」という言葉を投げかけたそうだ。そこで長谷川さんご夫婦は、実際にこの企画に参加し確かめてみることにした。参考パンフレットを手にして車で回って見たところ、まちの駅がどこにあるのか見つけられないことが多かった。ナビに住所を登録しても、その近辺でナビは終わってしまうことや、まちの駅が目印である旗でさえ出ていないまちの駅があったことが、原因である。長谷川さんは確かに分かりづらいと感じたそうだ。また、やっとの思いでシールをもらいに行ったお店では、タイミングが悪かったせいか、そこで働いているお店の方に邪険に扱われてしまった。まちの駅のココンセプトに“おもてなし”があるにもかかわらず、そのお店の方の態度に長谷川さんはがっかりしてしまった。せっかく、越後長岡まちの駅を広めるために始めたこの企画も、このようなまちの駅が一つでもあるだけで、全体の印象が悪くなってしまう。

そこで、今回のこの経験を生かし、長谷川さんは私たち学生に 1 つ提案をしてくださった。その提案が「各まちの駅にはどのような“おもてなし”があるのか、またどのような“おもてなしの工夫”をしているのかをまとめて発表してもらいたい。」というものである。これを学生が行うことで、それぞれのまちの駅の駅長さんに喝を入れることが目的にある。お話を聞いて、これまでのまちの駅のヒアリングは主にお店の紹介だけに留まっていたので、それぞれのまちの駅がどのようなおもてなしをしているのかを調査することに興味を湧いた。次年度にさらに深掘して、調査・研究活動をしていきたい。

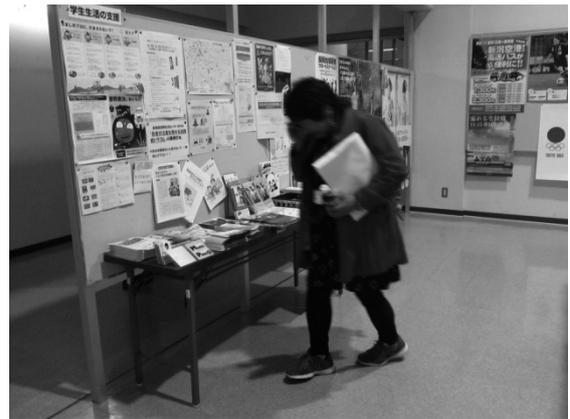


花火の駅駅長  
長谷川 栄久子さん

## ② 学内見学

交流会が終わると、長岡大学構内の見学を行った。研究室棟や教室棟、図書館、鯉江ゼミナールが日々活動している地域連携研究センターC、今年度新設された資格取得支援センター、地域交流ホール、学生食堂を巡り、長岡大学の魅力を広めた。

学生食堂では、鯉江ゼミナールがこれまで作成したまちの駅紹介パネル 125 枚を展示した。



学内見学の様子



パネル展示の様子

### ③ 懇親会

待ちに待った懇親会が始まった。乾杯は長岡市政策企画課長である、中村 英樹さんに行なって頂いた。ごあいさつはまちの駅長岡大学駅長でもある、長岡大学事務局長の品川 十英さんが行った。

学生それぞれが各まちの駅の方たちとお話することができた。大人の方たちから貴重なご意見を頂き、学生としてできることを考えさせられた。今後のまちの駅に対する取り組みに身が引き締まった。また、各まちの駅も互いに交流を深めていた。短い時間であったが、有意義な懇親会となった。



乾杯の様子



### 4.3 まとめ

#### (1) 反省点

昨年度の提案でもあるまちの駅の交流会を、今年度無事に開催できた。しかし、学生が準備に取り掛かるのが遅く、ほとんどの準備で地域連携センターの職員方の手をわずらわせてしまった。学生主導で行わなければ意味がないことなので、反省せざるを得ない。次年度もぜひまちの駅交流会を開催してほしいので、今回のようなことのないように、夏休み期間も集まって活動するのか等を十分話し合っ、積極的に行動してってもらいたい。

懇親会では学生それぞれが各まちの駅の方たちとお話しすることができたが、まだ学生の積極性が足りていなかったと感じた。まちの駅を学ぶ身として、自ら進んで交流を深めていくことが、自分にとっても、鯉江ゼミナールにとっても必要となってくる。次年度は意識をさらに高め、より充実した活動をしてもらいたい。

#### (2) 提案

まちの駅全国大会でも気づいたが、今回の交流会でも話し合うこと、意見を述べ合うことにより、よりネットワークが強化していくと感じた。まちの駅同士の連携が強まれば、地域の連携も強まり、地域同士の連携が強まっていけば、新潟全土の連携が強まっていく。なかなか時間が合わないなどの問題もあるだろうが、今後の自分たちの地域、新潟をより盛り上げていくためには、このような時間がより一層必要となって来る。

まちの駅のヒアリングをしていく中で、人のにぎやかさが足りない地域ばかりだった。まちの駅をきっかけとして、まず始めに地域の連携を強めてってもらいたい。地域に住む人たちが、地域にあるお店を助け合うのが理想だからだ。

これらのために、私たち鯉江ゼミナールが中心となって動いていきたい。今回の交流会は長岡大学で地域を限定せずに行ったが、今後は私たち鯉江ゼミナールがそれぞれの地域に訪れ、その地域だけの小さな交流会を主催したい。場所は地域の人たちが訪れやすい地域の中心地や、まちの駅をお貸し頂いて、1時間でも交流を深めてってもらいたい。今回は長岡大学という場所のために、参加したくてもできないまちの駅があるのではないかと感じたので、鯉江ゼミナールが直接訪れ、まちの駅の交流を手助けしていきたい。これをぜひ、次年度の研究活動の一つとして検討して頂きたい。

#### (3) おまけ

今回の新潟県内の交流会の様子を、新潟日報の記者さんが取材をしてくださった。このように学生がメディアに取り上げられていくことで、まちの駅が注目を浴びてもらえたら光栄だ。



取材の様子



出来上がった記事

## 5. とりまとめ

以下、今年度の活動・研究の結果明らかになった点をまとめ、今後の課題を整理する。

今年度の活動・研究テーマは新潟県内のまちの駅の情報発信とまちの駅間交流の実施である。

新潟県内のまちの駅の情報発信については、①10 地域にあるまちの駅合計 21 駅にヒアリング調査を行い、パネルを作成、②作成したパネルと各駅で扱われている商品などをお借りして学園祭で展示する、平成 26 年度悠久祭パネル展、③前年度までのまちの駅紹介パネルと今年度作成したまちの駅紹介パネルを載せたホームページの更新、④第 17 回まちの駅全国大会（埼玉県本庄市）に参加、⑤ボランティア活動を行った。

今年度の鯉江ゼミナールは、始め、4 年生 6 人、3 年生 4 人の 10 人体制だったが、最終的には、親の病気等で帰国しなければならなくなった留学生がでて、4 年生 5 人、3 年生 3 人の 8 人体制となってしまった。

4 月時点では、昨年度の報告書を参考に活動を振り返りながら、今年の調査内容を話し合った。これまで行ってきた、長岡、見附、糸魚川、主要 3 地域のまちの駅紹介パネルはほぼ完成している。そのため、他の地域にも手を伸ばす余裕が生まれたため、新潟県内にある、まだ紹介パネルを作成していないまちの駅をヒアリングすることとなった。

まず初めにまちの駅帖を参考にして、まちの駅紹介パネルを作成していないまちの駅全てに連絡を取り、その時点でまちの駅であるかの確認作業から入った。何度連絡しても繋がらない、またすでにまちの駅を辞めてしまっているところもあり、最終的には 19 駅にヒアリングを行うこととなった。その対象は、長岡 1 駅、見附 4 駅、糸魚川 1 駅、五泉 4 駅、新潟市 3 駅、新発田 2 駅、燕 1 駅、小千谷 1 駅、十日町 1 駅、上越 1 駅である。

今回はヒアリングをするためのアポイント取りを、学生一人ひとりが行った。留学生のために、電話の際に話すセリフを場面ごとに考えておき、練習をしてから取り組んだことで、大きな失敗もなくアポイントを取ることができた。まちの駅の方たちが電話の際、親切に対応してくださったのももちろんだが、留学生は外国語ということもあり、事前準備を怠らなかつた点も評価できる。反対に日本人学生の方が緊張してしまったり、言葉を知らなかつたりで、電話対応に苦労していた。

5 月のゴールデンウィーク明け、見附地域からヒアリングが始まった。見附地域が終わると、学生それぞれ予定を合わせ、長岡、新発田、上越、新潟、五泉、燕、糸魚川、小千谷、十日町の順で、最終的には合わせて 21 駅にヒアリングを行い、10 月初旬には何とかヒアリングを終わらせることができた。途中、学生が抜けてしまったりして、その学生が担当するはずだったまちの駅を他の学生が代わりに担当することになったり、また、長岡に 2 駅新規のまちの駅が誕生したこともあり、ヒアリングが長引いてしまった。

今年度のまちの駅紹介パネルでは、「学生のつぶやき」に力を入れ、配置にもこだわった。しかし、せっかく完成した紹介パネルのデータを削除してしまったり、USB を紛失させてしまったりと、それぞれのデータの管理のずさんさが表れた。まちの駅の方にも迷惑をかけてしまうことになるので、次年度はデータの管理には十分気をつけてもらいたい。

大学の学園祭では、例年通りパネル展を開催した。今年は修正更新を行わなかつたので、今年作成したパネルには「平成 26 年度作成」という言葉を入れ、前年度までに作成した紹介パネルと区別した。今年作成した紹介パネル 21 駅を合わせ 125 枚の紹介パネルと、各ま

ちの駅からお借りした商品などを飾った。また、ネーブル見附からお借りした、紹介DVDと今年のアヒリングをまとめたスライドショーを流すことで、より一層まちの駅に興味を持ってもらえるよう工夫をした。今年のパネル展の来場者は、去年よりは少なかったが、多くの方がまちの駅について質問をしてくださり、私達学生も積極的に答えることができた。しかし多くの反省点が残るものでもあった。パネル展で飾る商品などを借りる準備が遅く、各まちの駅の皆様にも多大なご迷惑をおかけしてしまった。また、二人の担当者に任せたが、互いの連携が取れておらず、結局一人の学生だけがしなければならず、周りの大人の方たちにもご迷惑をおかけした。次年度はゼミ生の人数が少なくなってしまうので、誰が何をすべきなのか、何ができるのか等をよく話し合い、互いに協力し合って、今年度のようなことがないようお願いしたい。

ホームページの更新について、今年はデザインを変更せず、新しい紹介パネルを載せただけで全く目新しさが無い。来年は、地域が増えたこともあるので、もっと見やすいホームページに変更していただきたい。

悠久祭が終わるとすぐに、10月31日～11月1日に埼玉県本庄市で開催された、【まちの駅全国大会・まちの駅フォーラム in 本庄】に参加してきた。二日間に渡って、全国のまちの駅について学ぶことができた有意義な時間となった。特に、1日目に行われたワールド・カフェでは、学生それぞれが自分の考えを述べることができ、まちの駅について熱く語り合うことができた。4年生にとっては、まちの駅に1年以上関わってきたにも関わらず、まだまだ知らないことが多かった。全国のまちの駅のそれぞれの取り組みを知り、自分たちにできることを考えさせられた。新たな発見も多く、これから社会に出る身としても良い刺激を味わえた。3年生にとっては、まだよくわからない状態の中で、まちの駅の意味、問題点などを考える機会を経験したことは、彼らにとっても、来年の鯉江ゼミナールにとっても、貴重な経験になったに違いない。今年度のまちの駅全国大会に参加してみて、思っていた以上の経験や知識を手に入れることができたので、来年もぜひ、まちの駅全国大会に参加してもらい、まちの駅 長岡大学や新潟の全まちの駅を広めていただきたい。また、多くのことを吸収し、まちの駅を広めるため、より一層の活躍をしてもらいたい。

ゼミでのボランティア活動は、今年は学生の都合が合わず、一つしか参加できなかった。その一つが、今町商店街主催の「特得バザール/百縁笑店街」である。イベントでは、輪投げコーナーを担当した。子どもたちが元気よく参加してくれたおかげで、景品が午前中でほとんどなくなってしまふほど盛り上がった。次年度は、今年度よりも積極的に参加し、地域との繋がりをより一層強めてもらいたい。

アヒリングやまちの駅全国大会、ボランティアに参加することで、留学生にとっては日本をより知ることができ、大きな経験を得られたと思う。また、いろいろな場に参加したことにより、昨年度よりもまちの駅を理解を深め、まちの駅の方たちとの繋がりが強くなったのではないかと思う。今後もまちの駅に積極的に関わっていき、学生一人ひとりがまちの駅を広めていく“ファン”になっていくことが理想である。

まちの駅間交流の実施については、昨年度の提案でもあり、鯉江ゼミナールが主催し、長岡大学で新潟県内のまちの駅交流会が行われた。結論から言うと、上手くいったのではないかと思う。活動報告も好評化を頂き、懇親会ではまちの駅全国大会のように、学生そ

れぞれがご参加頂いたまちの駅の方たちとお話しすることができていた。しかし、準備の段階で学生が行わず、全て地域活性化プログラムの方たちに任せてしまったのは問題である。本来であれば私たち学生が中心となって行わなければならないので、来年もし、第二回新潟県内のまちの駅交流会を開催できるのであれば、今回の問題点を改善し、今年の交流会よりもより良いものを作り上げていてもらいたい。

#### <謝辞>

最後に、お忙しい中私たちの取り組みを全面的に応援して下さった「市民協働推進室」の安達さん、「ネーブルみつけ」の中川さんを始め、ヒアリング調査、パネル展でのご支援、ご協力してくださいました地域の皆様、誠にありがとうございました。

また、日頃の活動のサポートや報告書の作成等でいろいろとご協力して頂いた「地域連携研究センター」の職員の方々にもお礼を申し上げます。ありがとうございました。

#### <参考文献>

- ・まちの駅連絡協議会、『まちの駅の歴史』、平成 23 年 3 月
- ・まちの駅連絡協議会、『21 年度の取組み概要報告』、平成 22 年
- ・まちの駅公式サイト「まちの駅どっと混む」(<http://www.machinoeki.com/>)
- ・長岡大学 『学生による地域活性化提案プログラム—政策対応型専門人材の育成— 平成 19 年度活動報告書』 平成 20 年 3 月
- ・長岡大学 『学生による地域活性化提案プログラム—政策対応型専門人材の育成— 平成 20 年度活動報告書』 平成 21 年 3 月
- ・長岡大学 『学生による地域活性化提案プログラム—政策対応型専門人材の育成— 平成 21 年度活動報告書』 平成 22 年 3 月
- ・長岡大学 『学生による地域活性化提案プログラム 平成 22 年度活動報告書』平成 23 年 3 月
- ・長岡大学 『学生による地域活性化提案プログラム 平成 23 年度活動報告書』平成 24 年 3 月
- ・長岡大学 『学生による地域活性化提案プログラム 平成 24 年度活動報告書』平成 25 年 3 月
- ・長岡大学 『学生による地域活性化提案プログラム 平成 25 年度活動報告書』平成 26 年 3 月
- ・まちの駅ホームページ (<http://www.machinoeki.com/>)
- ・「越後長岡まちの駅」の紹介ページ (<http://www.city.nagaoka.niigata.jp/kurashi/s-centar/machi/index.html>)
- ・「まちの駅ネットワークみつけ」(<http://www.mitsuke-machinoeki.com/>)

平成26年度 学生による地域活性化プログラム  
鯉江康正ゼミナール活動報告書

【発行日】 平成27年3月26日  
【発行人】 内藤 敏樹  
【発行】 長岡大学 地域活性化プログラム推進室  
〒940-0828 新潟県長岡市御山町80-8  
T E L 0258-39-1600 (代)  
F A X 0258-39-9566  
<http://www.nagaokauniv.ac.jp/>